

令和6年度 メディア説明会

目 次

1. 洪水についての基礎知識	P. 1
2. 富山県内の河川の特性	P.4 8
3. 危険を伝える情報	P.5 3
4. 防災情報の入手方法	P.5 6
5. 大雨による道路の通行止めについて	P.6 8
6. 道路ふれあい月間・道路愛護に関する広報	P.7 1
7. その他	P.7 2

令和6年 7月10日

富山河川国道事務所

1. 洪水についての基礎知識

「洪水」＝「氾濫」ではありません

- 地震＝「被害発生」とは限らない。
被害がなくても、地震は地震
- 洪水＝「氾濫発生」とは限らない。
被害がなくても、洪水は洪水

「洪水」=「氾濫」ではありません

「洪水」(こうずい)と「氾濫」(はんらん)と「水害」(すいがい)はどう違うの？

	洪水	氾濫	水害
			
(平常)	＜洪水＞とは、大雨などによって川の水の量が、ふだんよりも異常に増えた川の状態のこと。	＜氾濫＞とは、洪水が <u>家や田んぼのある側、つまり堤内にあふれてくる状態</u> のこと。	＜水害＞とは、洪水が氾濫することによって、人の命や家や農作物などに被害が発生すること。

「洪水」を防ぐことはできるのか？

- 地震は発生を防ぐことはできません。
耐震対策などは可能
- 洪水も発生を防ぐことはできません。
被害を回避・軽減することは可能
- 氾濫を回避・軽減する手段が、
河川改修やダム洪水調節（ハード）です。
人的被害を最小化させる手段が、避難など（ソフト）です

「洪水」を防ぐことはできるのか？

「流域治水」の施策について

- 流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、**堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速する**とともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わる**あらゆる関係者が協働して水災害対策を行う**考え方です。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

〔国・市、企業、住民〕

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

集水域

流水の貯留

〔国・県・市・利水者〕

治水ダムの建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

河川区域

〔国・県・市〕

土地利用と一体となった遊水
機能の向上

持続可能な河道の流下能力の 維持・向上

〔国・県・市〕

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

〔国・県〕

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

〔国・市、企業、住民〕

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

〔国・県・市〕

二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興 のための対策

土地のリスク情報の充実

〔国・県〕

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段階水害リスク情報を発信

氾濫域

避難体制を強化する

〔国・県・市〕

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

〔企業、住民〕

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

〔企業、住民〕

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

〔国・企業〕

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

〔国・県・市等〕

排水門等の整備、排水強化

「洪水」を防ぐことはできるのか？

ソフト対策の例

普段からハザードマップ等でリスクを知って、事前に避難等の行動計画を立てておき、避難行動のきっかけとなる河川水位やカメラ映像等の情報を取得し安全に避難する。



避難訓練



河川水位やカメラ映像等の取得

災害時の、「堤防が決壊した」という情報に要注意

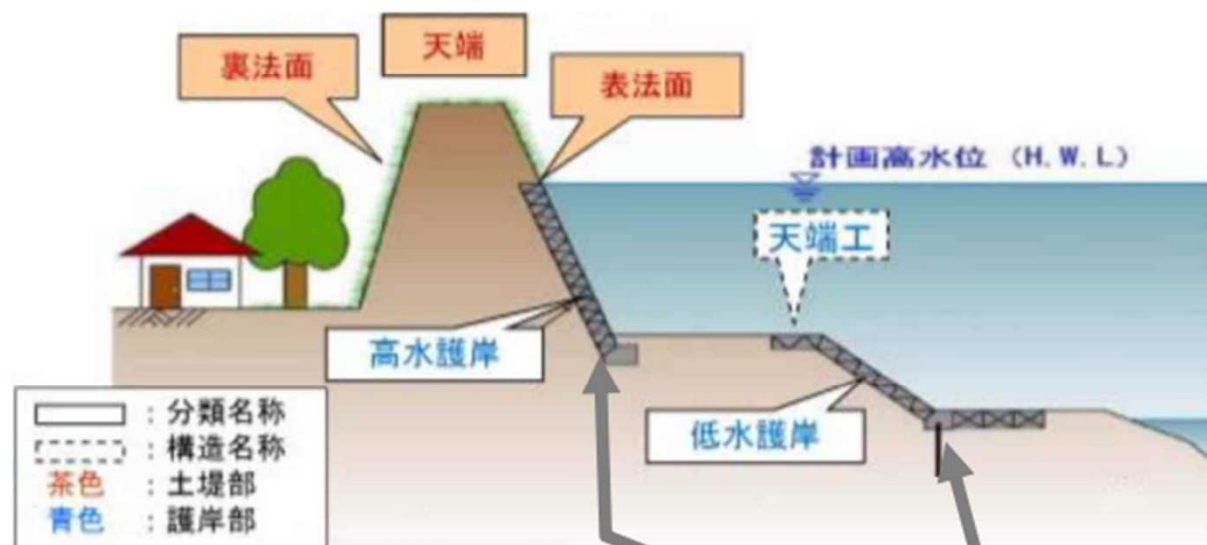
- 実は、**多くの川**（特に中小河川）には、**堤防がありません。**
- 計画上も**堤防のない河川を掘込河道**という。
掘込河道とは、「**洪水時の水位 < 周辺地盤**」
- しかし、掘込河道で浸水被害が発生しても、**「堤防が決壊した」という誤情報が散見されます**

堤防と護岸

- 「洪水時の水位＞ 周辺地盤」のとき堤防を築く
- 堤防を保護するコンクリートブロック等が護岸。
堤防のない河川でも、河岸を保護するために護岸
- SNSでの「堤防の決壊」が、実は「護岸が削られた」
だけという場合も
- 浸水被害があると、堤防や護岸等に損傷がなくても、
「堤防の決壊」と情報が流れる場合も

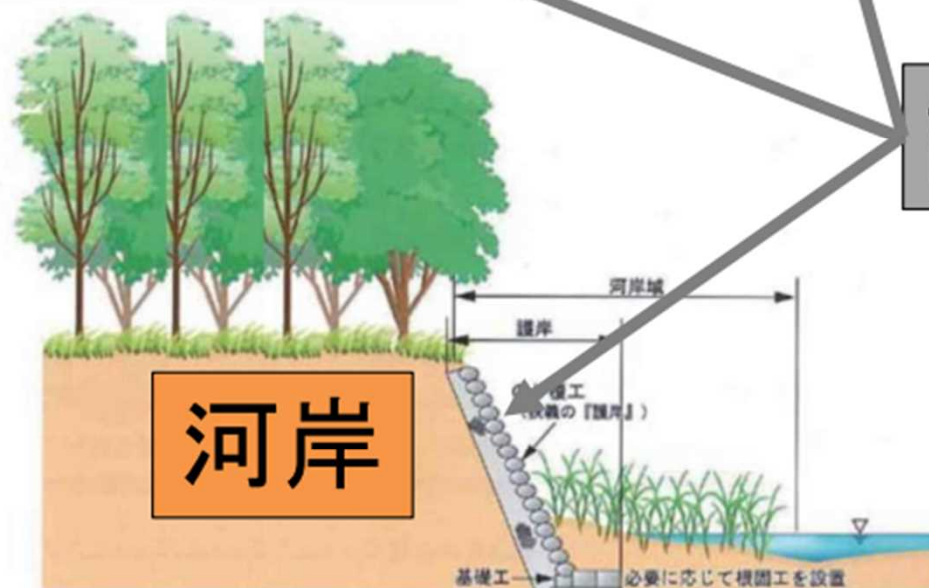
堤防と護岸

堤防



護岸

掘込河道



国土交通省ホームページ

上図 https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kasen/pdf/08_teiboukadou_tenkenkekka_sankou.pdf

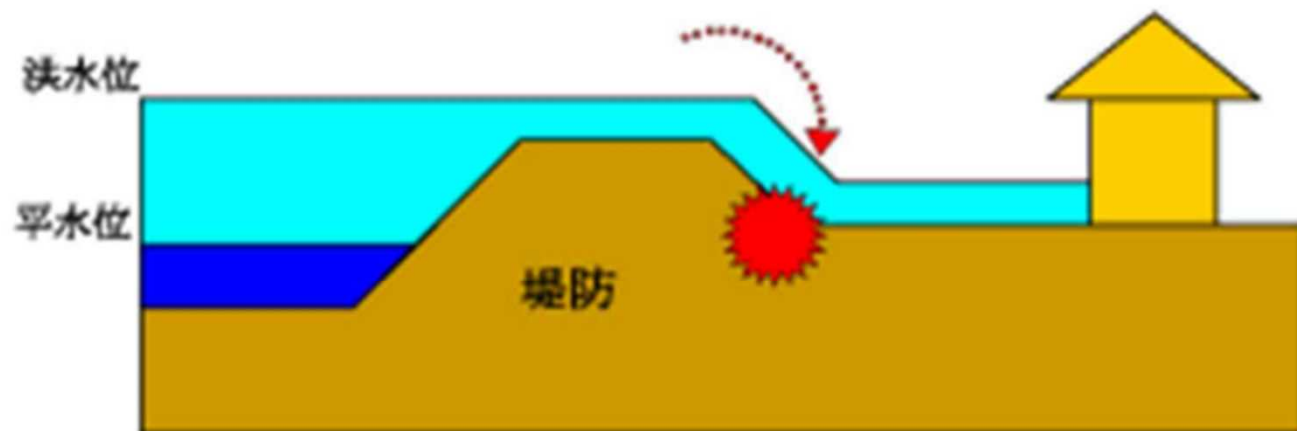
下図 https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/bousai/saigai/measures-saigai/pdf/04.pdf (一部図を改変) 8

浸水被害にはどんな種類がある？

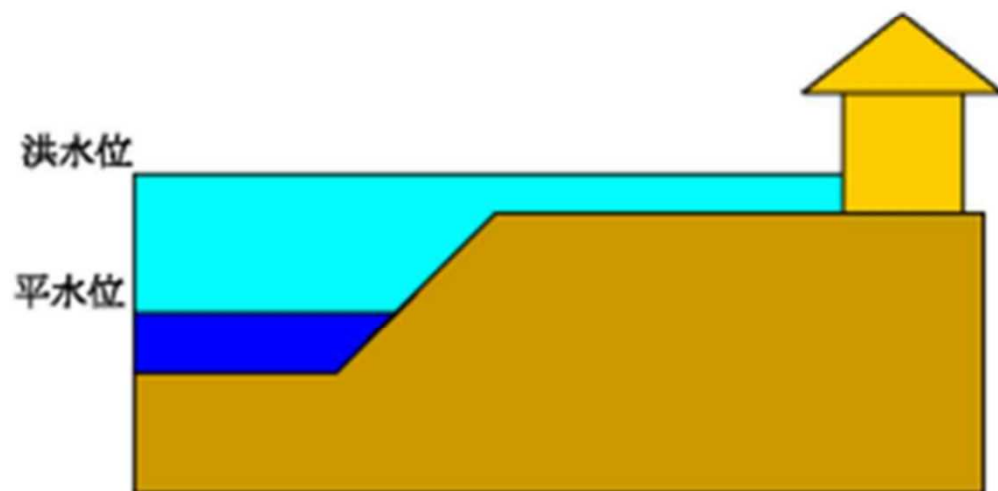
- 堤防のない川で水が溢れるのは「**溢水**」。
堤防のある川で水が堤防を乗り越えるのは「**越水**」
- 越水が生じると、堤防の決壊が生じる危険性大。
堤防の決壊は、**浸透**、**侵食**などによっても発生
- このような河川の氾濫による被害を**外水被害**
- 河川に排水できずに生じる浸水を**内水被害**

越水と溢水

越水



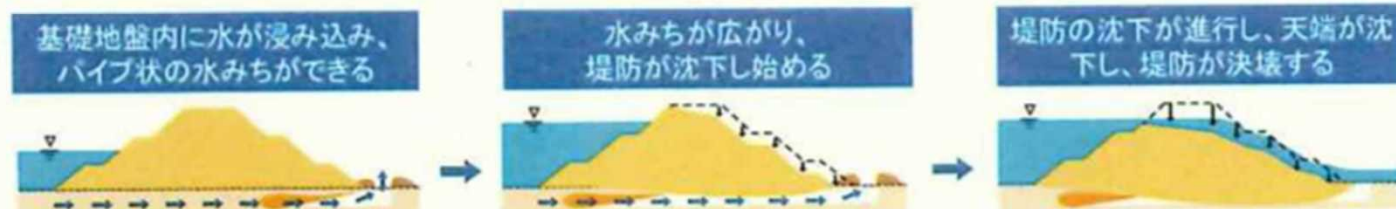
溢水



堤防の決壊（破堤）の形態

河川水の浸透・パイピングによる堤防決壊

パイピング破壊
イメージ図



浸透破壊
イメージ図



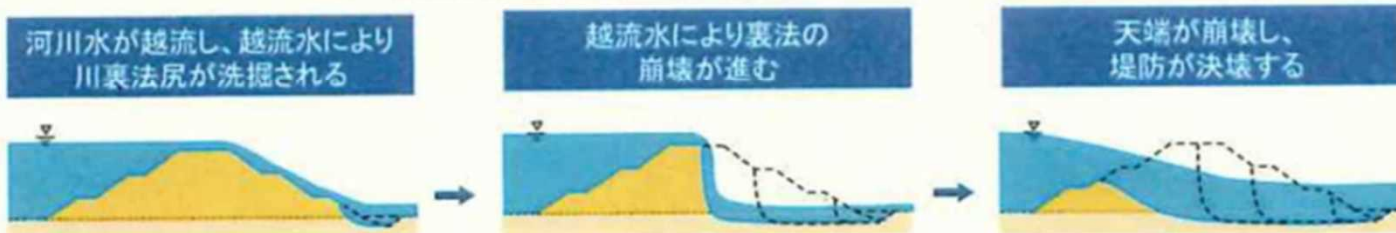
河川水の侵食・洗掘による堤防決壊

侵食・洗掘破壊
イメージ図



河川水の越水による堤防決壊

河川水の越水による堤防決壊
イメージ図

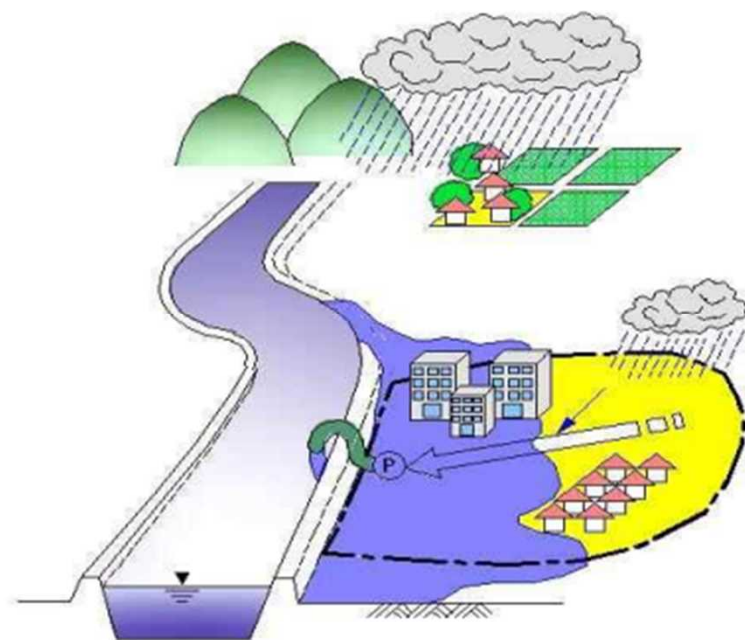


外水被害と内水被害

○浸水には、河川氾濫により発生する「外水被害」と、都市等に降った雨が河川等に排水できずに発生する「内水被害」がある。

○一般に、**外水被害は、内水被害よりも大きな被害**となる。

【外水被害】



河川水位が上昇し、河川の決壊や溢水により浸水

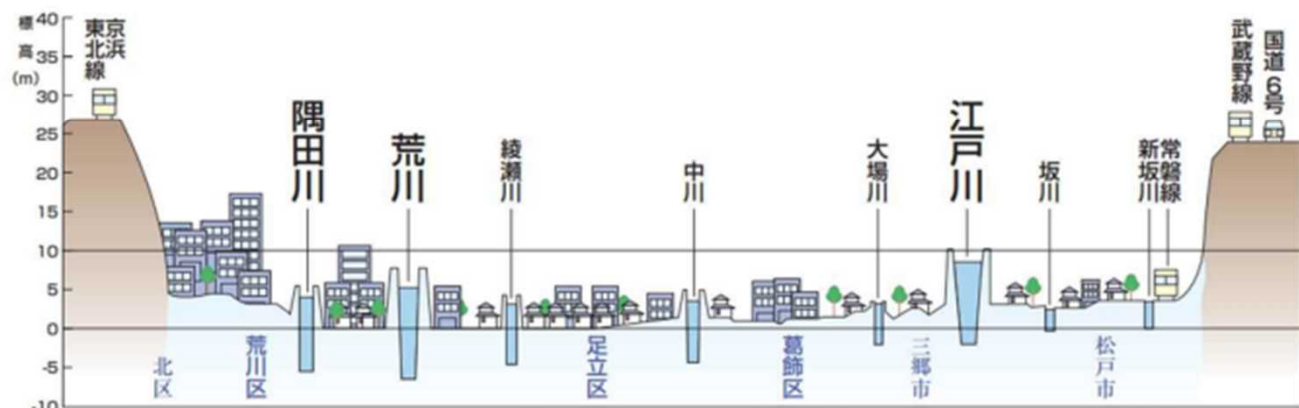
【内水被害】



下水道の雨水排水能力を上回る浸水 あるいは
河川水位の上昇により、下水道から河川へ放流
できず浸水

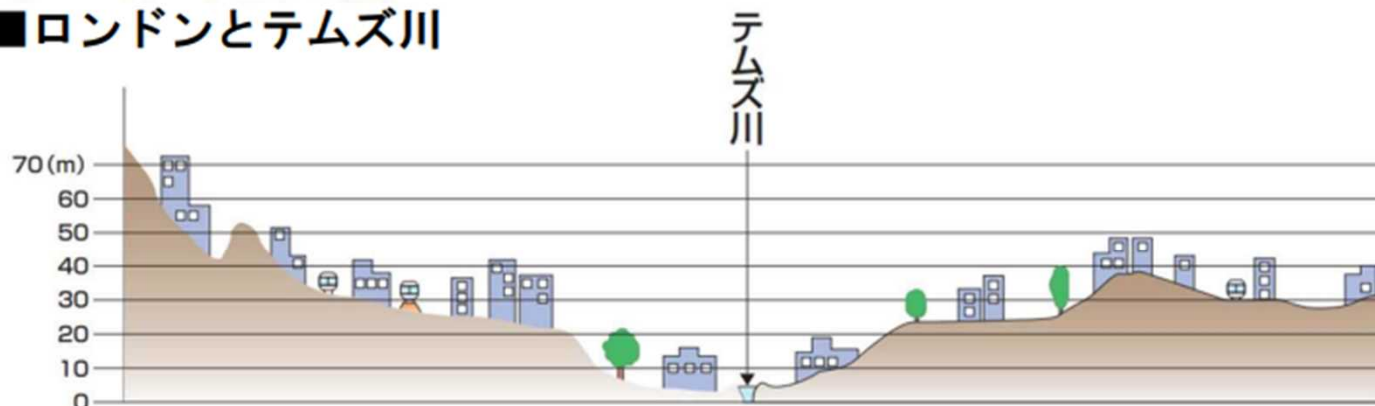
外水被害

■東京と江戸川・荒川・隅田川



東京では市街地よりも高いところを流れている河川が多い

■ロンドンとテムズ川



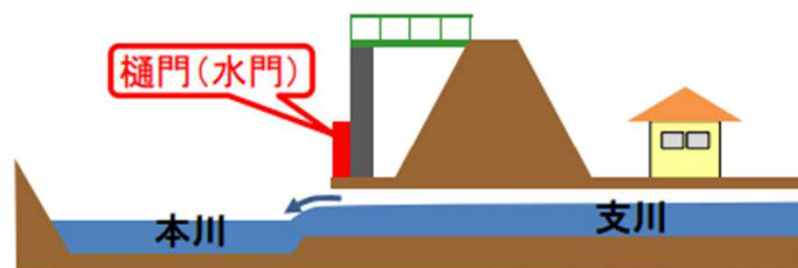
ロンドン市内ではテムズ川が市街地の一番低いところを流れている

- 河川の水位が高いとき、強制排水を続ければ、さらに河川の水位が高くなり**外水被害のリスク**が高まります
- 河川の水位が高いときには、支川等の合流部に設置したポンプを停止します（＝ポンプの運転調整）
- ポンプの運転調整**をすると高い確率で**内水被害**が発生。しかし、堤防の決壊にもつながりうる外水被害のリスクを抑えるためには**やむを得ない措置**

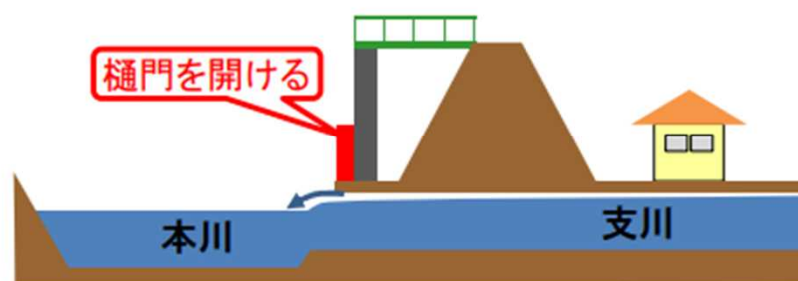
外水被害を回避するために、内水被害を許容せざるを得ない場合もあります

本川の堤防に設置している樋門の役割

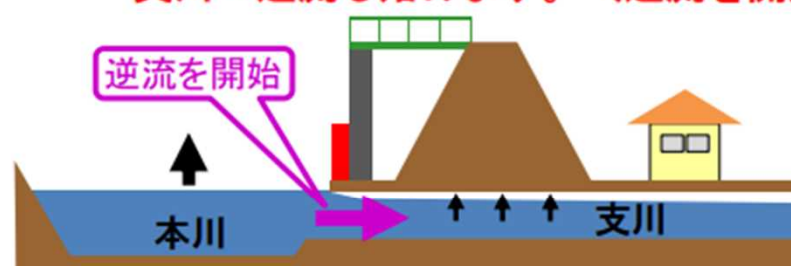
平常時：樋門は開いている。
支川からの水は本川へ流れています（順流）



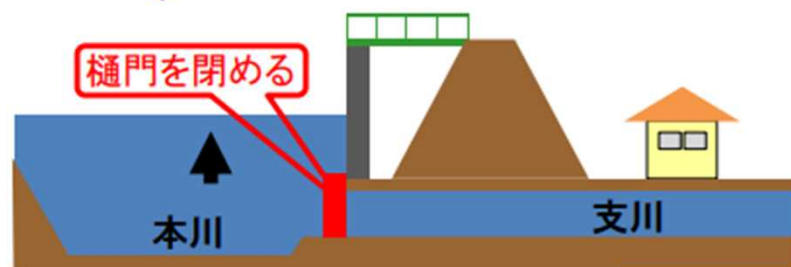
洪水後：本川の水位が平常時に戻りつつある場合
本川の水位が支川より下がったら樋門を
開けて、支川からの水を本川へ流します
（順流）



洪水中：本川の水位が上昇し、支川の水位より
高くなると樋門より本川からの水が
支川へ逆流し始めます。（逆流を開始）



本川から支川への逆流を防ぐため
樋門を閉じます（逆流防止）



※ 支川に流入する河川や水路等がある場合、
支川の水位は上がりますが、
本川からの大量の水の流入を防ぎます。

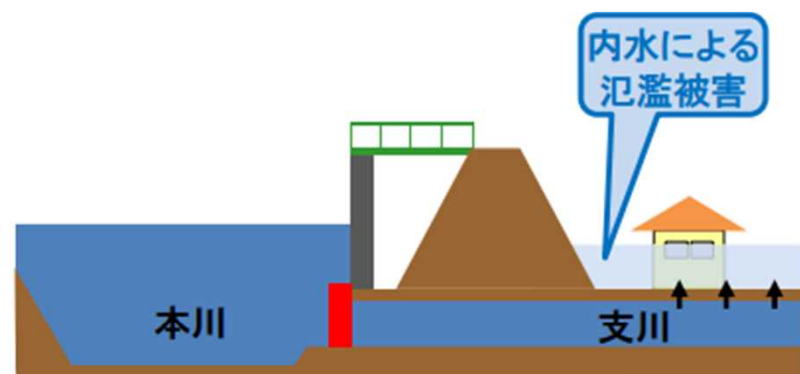
外水被害を回避するために、内水被害を許容せざるを得ない場合もあります

本川の堤防に設置している排水ポンプの役割

- 本川から支川への逆流を防ぐため、樋門を閉めることで、支川で溢れてしまう場合があります、この現象を「内水」といいます。
- 内水被害を防止するため、支川の管理者は、本川の管理者と協議の上、排水ポンプを設置できる場合があります。
- なお、排水ポンプの設置にあたっては、当該支川の排水量だけでなく、他の支川からの排水量も確認、検討する必要があります。

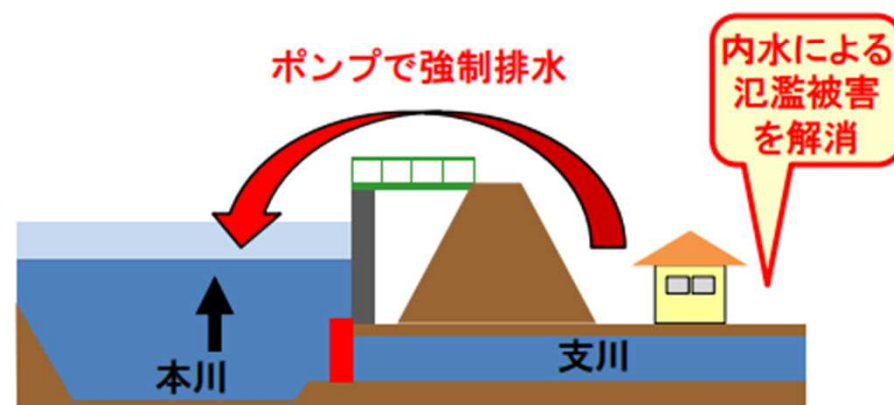
<排水ポンプがない場合>

本川からの逆流防止のため、ゲートを閉めた場合、支川で氾濫する場合があります



<排水ポンプを設置した場合>

支川の水をポンプで本川へ排水します。

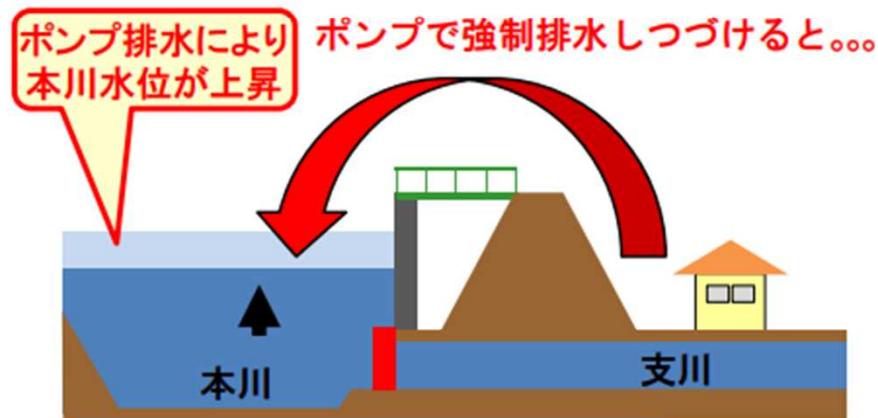


外水被害を回避するために、内水被害を許容せざるを得ない場合もあります

ポンプ運転調整とは

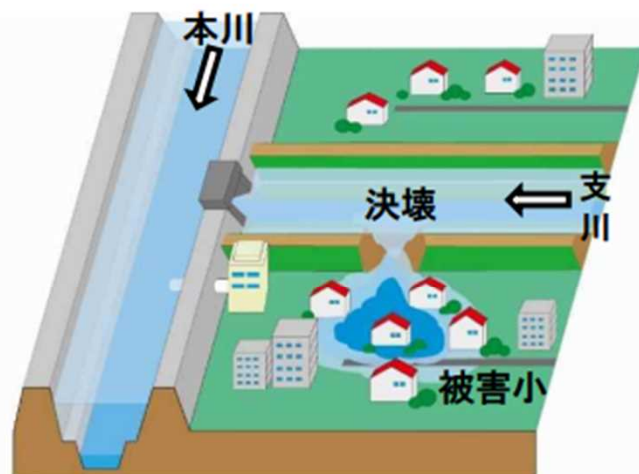
<ポンプ運転調整>

- 支川のポンプ排水により、本川水位は上昇します。
- 本川水位の上昇により、本川堤防が決壊するおそれのある場合には、ポンプ排水を制限が必要です。
- 排水ポンプの制限は、本川の堤防決壊による壊滅的な氾濫被害を防ぐための措置です。



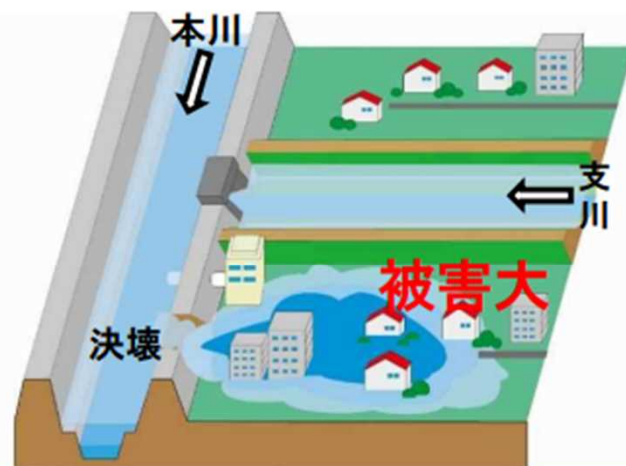
<排水ポンプがない場合>

万が一、支川で内水氾濫が起こった場合でも、氾濫面積は小さく、氾濫水深も浅いです。



<排水ポンプが排水し続けた場合>

排水ポンプで排水し続けて、本川堤防が決壊した場合、氾濫面積は大きく、氾濫水深も深くなります。



小 被害 大

洪水時の水位を低下させることが重要

- 河川の水位を低下させると、
外水被害を回避・軽減。内水被害も回避・軽減
- 治水対策**として、河床掘削、引堤、放水路、
遊水地、ダム等により**水位を低下**させます

洪水時の水位を低下させることが重要

- 治水の原則は、「洪水時の河川の水位を下げて、洪水を安全に流す」
- 治水の原則を踏まえながら、様々な治水対策を組み合わせる実施。



洪水時の水位が地盤高より高い区間の河川では、水位を下げるのが治水の原則



- ①河床掘削:
河床を掘り下げて河川の断面積を大きくする。



- ②引堤:
堤防を移動して川幅を広げることにより、河川の断面積を大きくする。



- ③放水路:
新しく水路をつくり洪水をバイパスすることにより、河川(本川)の流量を減らす。



- ④洪水調節施設:
洪水の一部を上流部のダム・遊水地など洪水調節施設で貯留し、洪水のピーク流量を減らす。

※このほか、堤防の高さが計画高水位に満たない等の場合には、
堤防の嵩上げ等による洪水を安全に流すための対策を実施。

洪水時の水位を低下させることが重要

遊水地・調節池

○河川に沿った地域で、洪水流量の一部を貯留し、下流のピーク流量を低減させ洪水調節を行う施設を遊水地または調節池と呼びます。

渡良瀬遊水地(例)



- 位置 : 茨城県古河市の北西に位置し、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県の4県の県境にまたがる
- 遊水地面積 : 3,300 ha
- 総貯水容量 : 17,180万 m^3 (日本最大の遊水地)

令和元年東日本台風時の調節状況



洪水時の水位を低下させることが重要

- 堤防のかさ上げは洪水時の水位を上昇させる
- そのため、堤防決壊時の被害が増大。
また、河川への排水が困難となり内水被害が増大、
堤防にかかる橋梁の架け替えも必要となるなど、
デメリットが大きい対策です

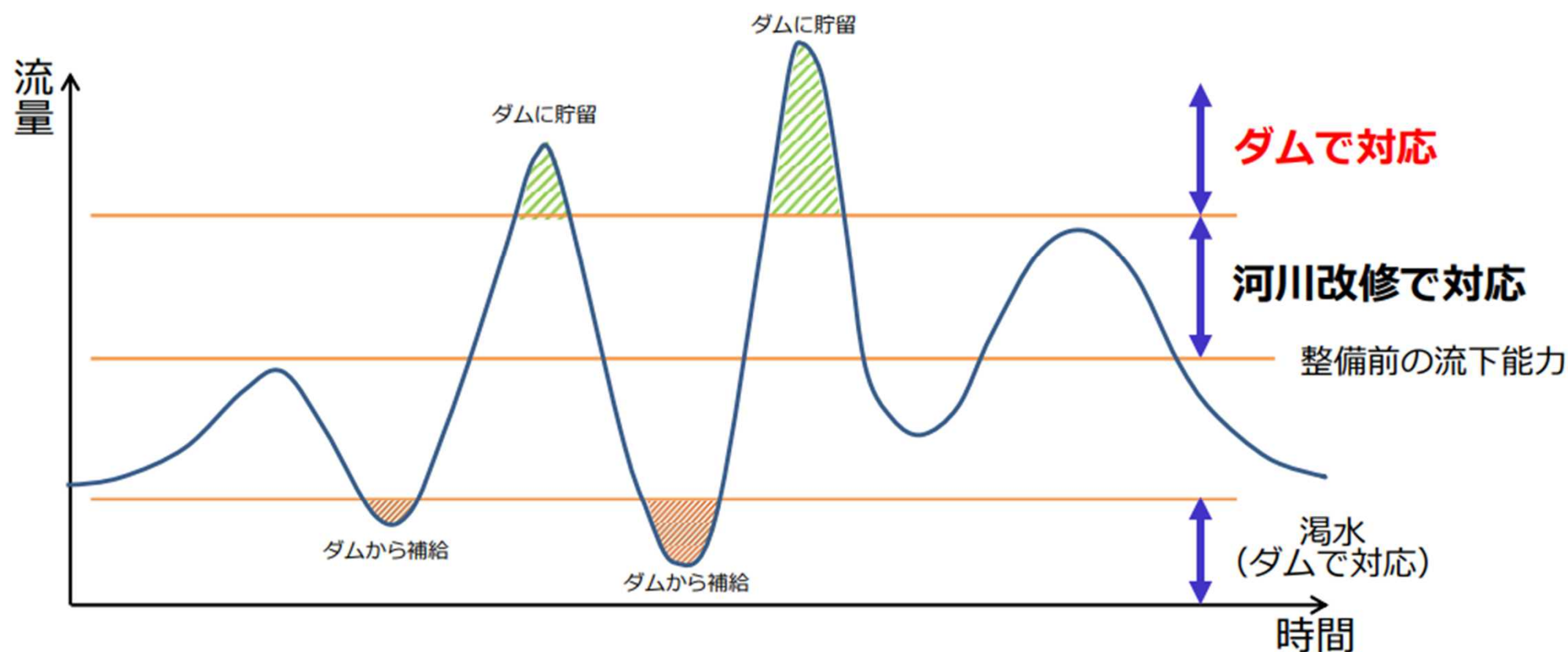
ダムによる洪水調節も、洪水時の水位を低下させる有効な手段

- どんな大洪水でも流すことができるように
川幅を大きくすれば、洪水はあふれません
- しかし、それでは、街中が川ばかりになって
しまい、何を守っているのか分かりません
- そこで、ある程度までは**川に流し**、それ以上
は**ダムに貯める**、という役割分担をしています

ダムによる洪水調節も、洪水時の水位を低下させる有効な手段

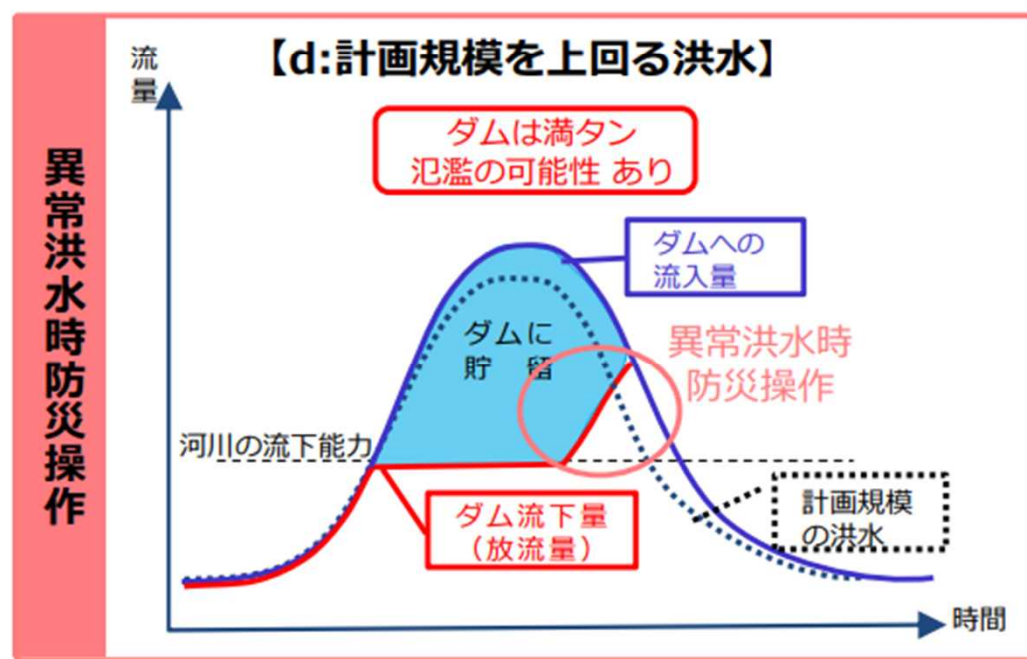
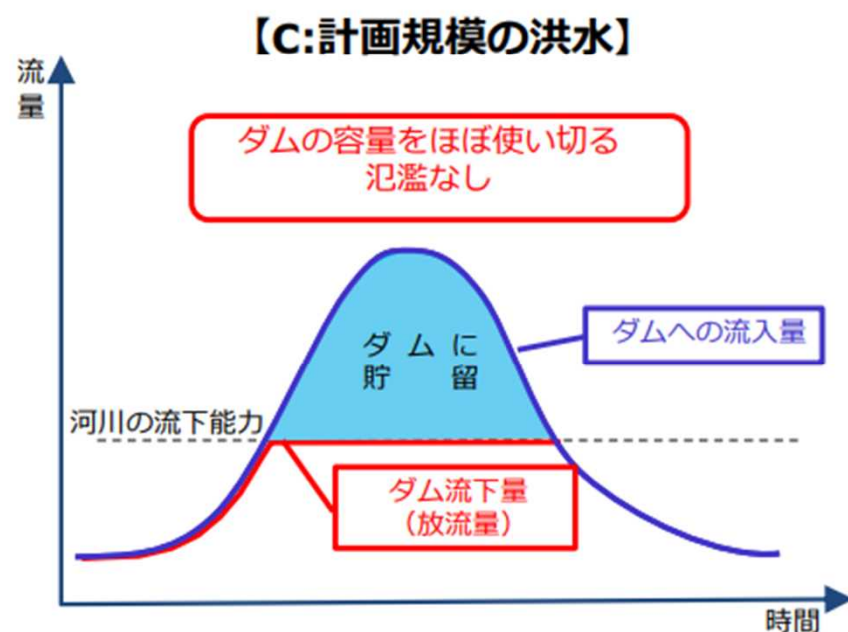
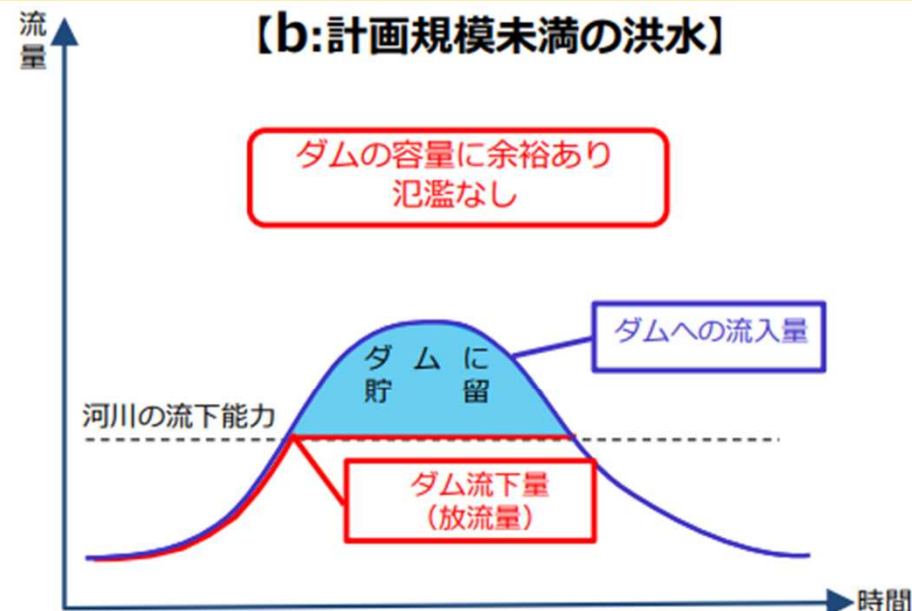
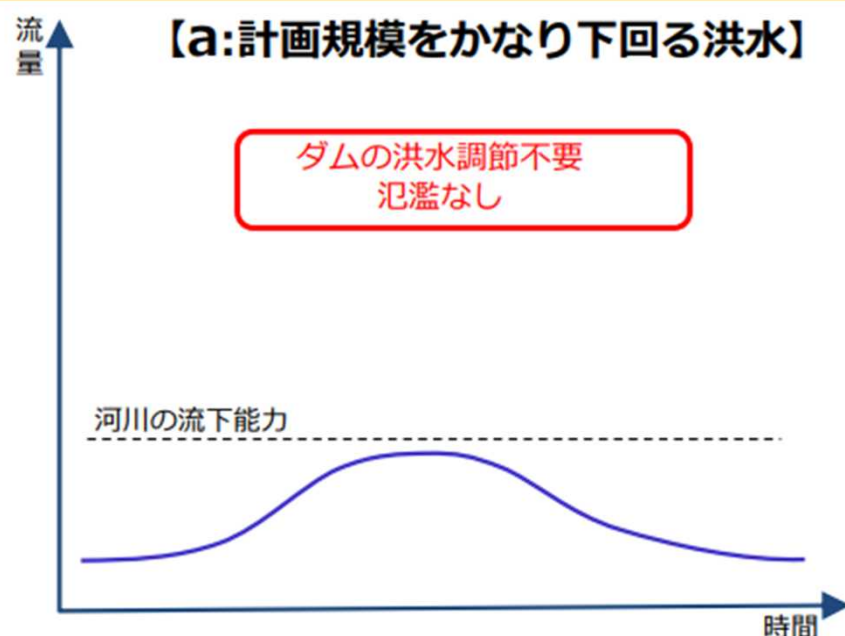
河川改修とダムの役割分担イメージ

- 頻度の高い、ある程度の規模の洪水に対しては、河川改修で流下能力を確保。
- それを超える、頻度の低い大規模な洪水に対しても、河川改修のみで安全確保を図ろうとすると、まちを大きく改変する河川改修が必要となる。
- そのため、ダムによる洪水貯留と河川改修を組み合わせる治水対策を実施。



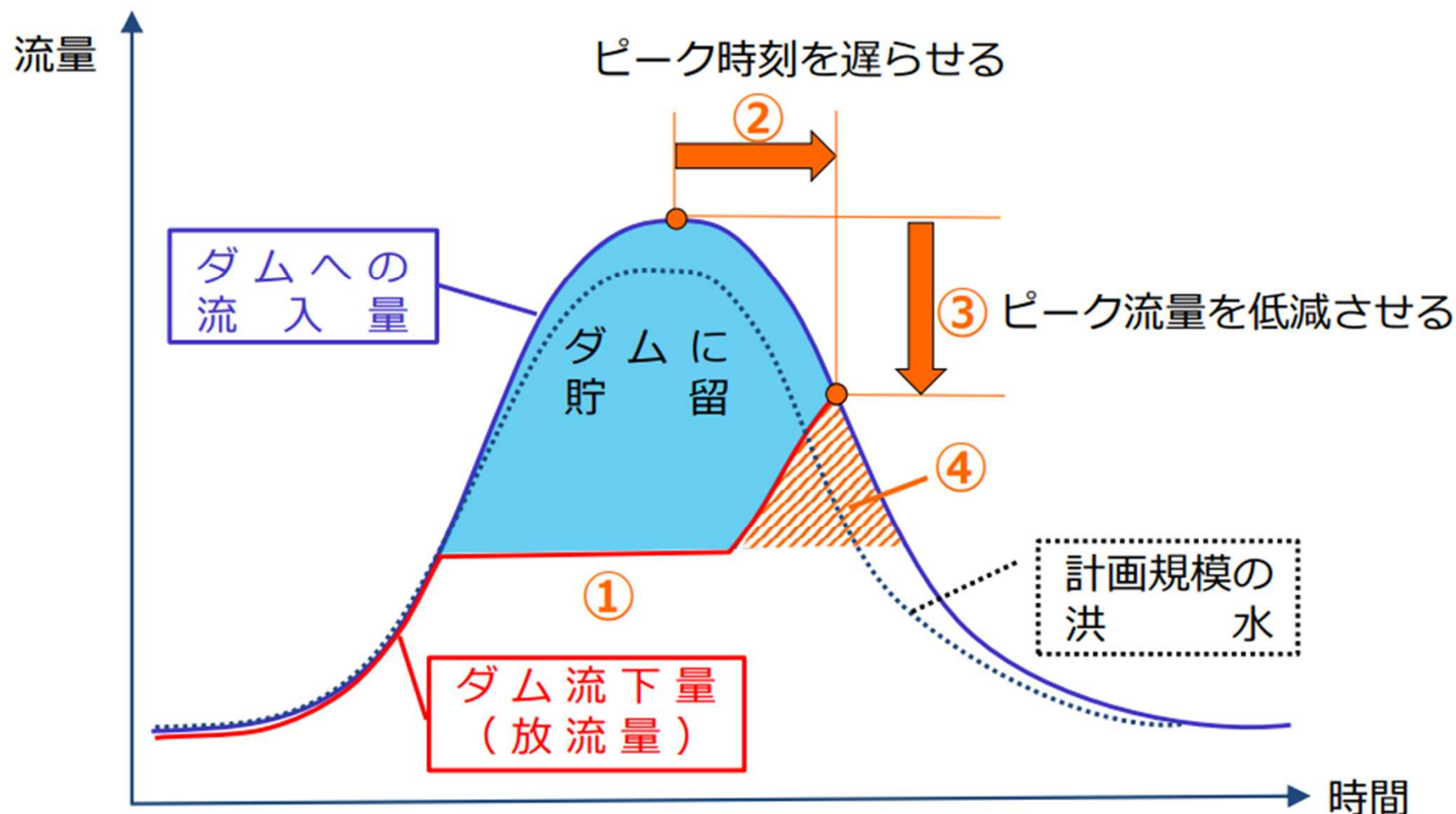
ダムは、下流河川での洪水氾濫を防止・軽減します

ダムの防災操作(洪水調節)



ダムが緊急放流に移行しても、ダムは大きな効果を発揮

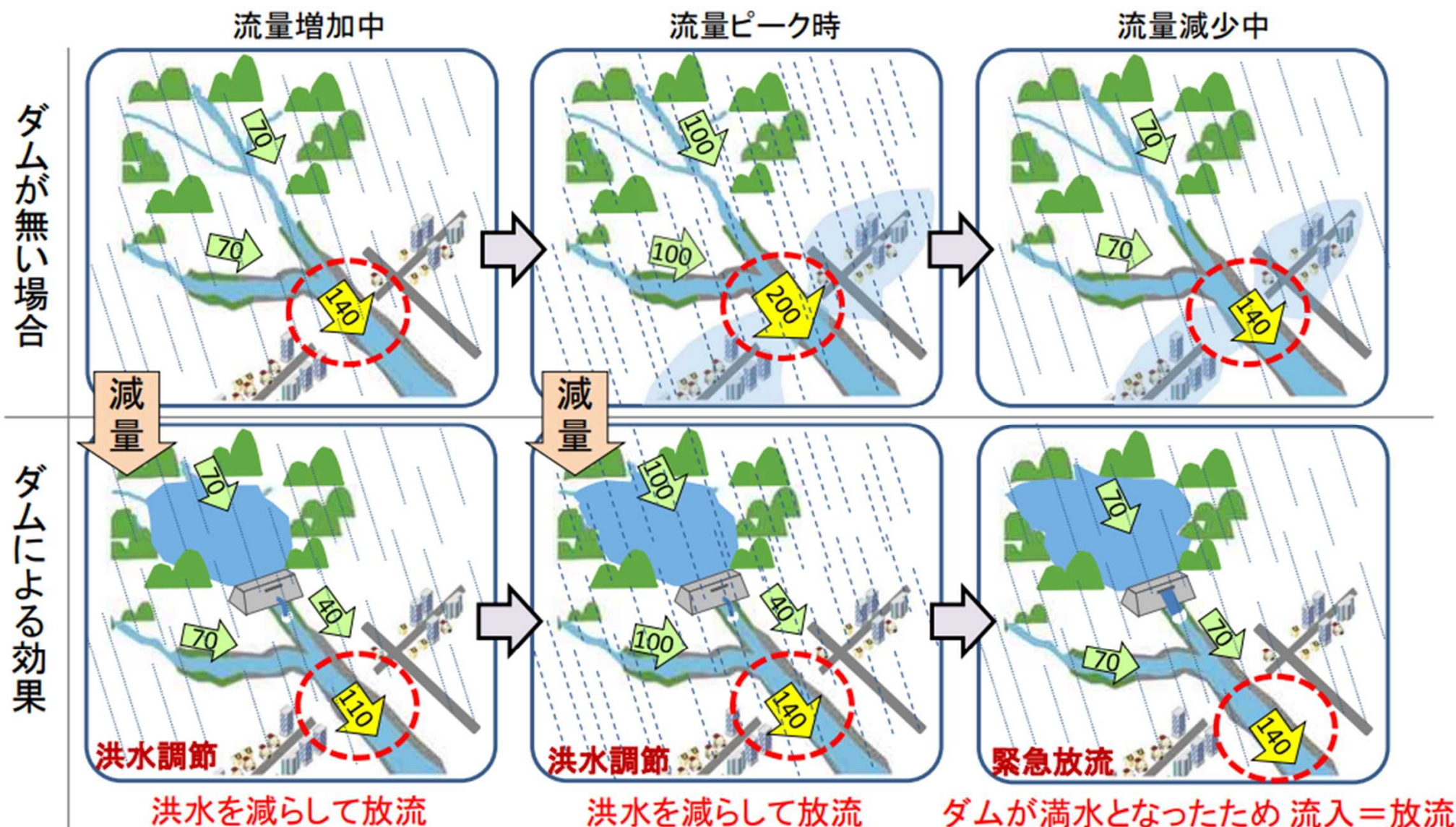
ダムの防災操作 異常洪水時防災操作(緊急放流)



- ① 安全な流量が流れているうちに避難が可能
- ② ピーク時刻を遅らせる → 避難時間を確保
- ③ ピーク流量を低減させる → 下流河川の被害を軽減
- ④ 仮に氾濫した場合でも、氾濫ボリュームを減少させて、下流河川の被害を軽減

ダムが緊急放流に移行しても、ダムは大きな効果を発揮

- ダムは、洪水調節の際には、下流河川の流量を少なくする。
- 緊急放流を行った場合でも、ピークをずらす効果により、下流の被害を回避・軽減します。

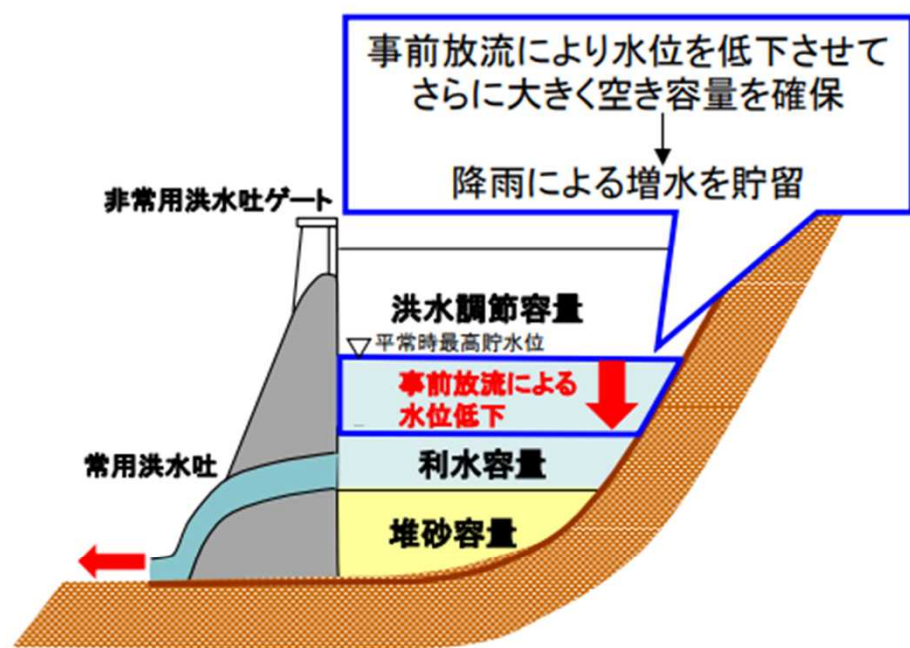


- 「事前放流」は、大雨が見込まれる場合、水力発電、農業用水、水道等のためにダムに貯めている水を放流して、一時的にダムの貯水位を下げ、大雨に備える取組み
- この取組は、治水を目的に持つダムだけでなく、利水専用のダムにおいても実施

洪水調節能力を増大させるための事前放流の取組

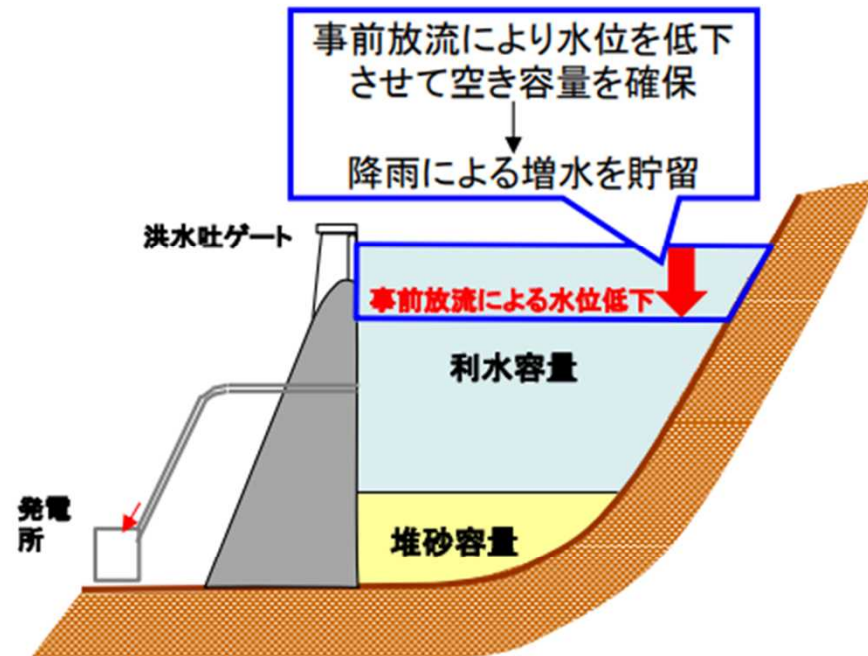
- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量も活用して、治水の計画規模や河川（河道）の施設能力を上回る洪水の発生時におけるダム下流河川の沿川における洪水被害を防止・軽減する取組を関係省庁と連携して実施。
- 水力発電、農業用水、水道等のために確保されている容量には、通常、水が貯められていることから、台風の接近などにより大雨となることが見込まれる場合に、大雨の時により多くの水をダムに貯められるよう、河川の水量が増える前にダムから放流して、一時的にダムの貯水位を下げしておく「事前放流」を行う。

治水等（多目的）ダムにおける事前放流



事前放流により洪水調節が可能な時間をより長く確保
➡ ダムが満水になり流入量をそのまま放流することとなる異常洪水時防災操作を回避・軽減

利水ダムにおける事前放流



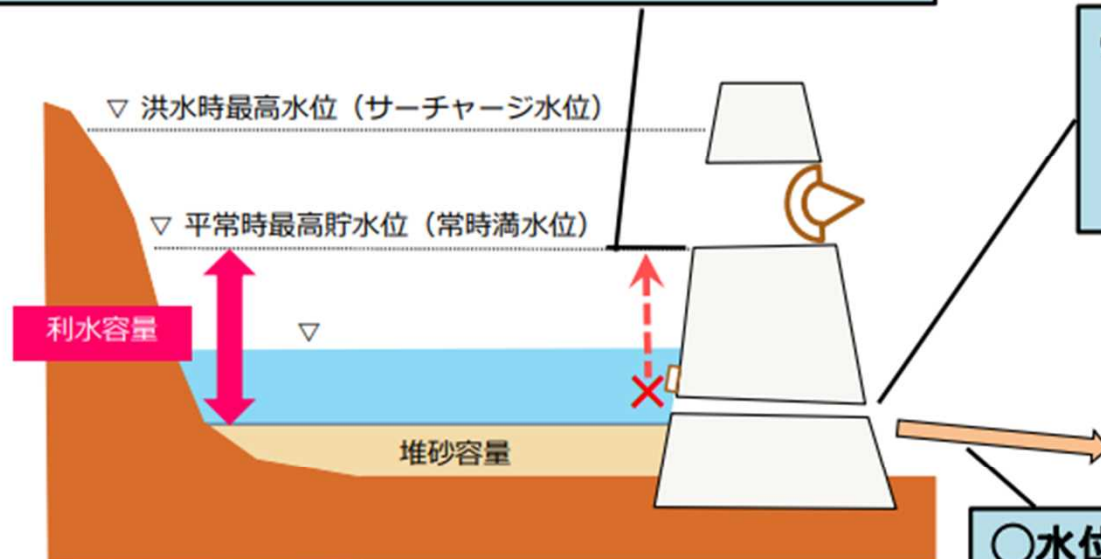
これまで洪水を貯留する容量がなかったが、事前放流により可能な限り洪水を貯留

事前放流の制約要因

- 放流設備の位置：放流設備が設置されている位置により低下可能な水位の高さが決まる。
- 放流能力：利水放流のために設置された放流設備では、放流能力が小さく、放流できる量の制約となる。洪水吐ゲートのない利水ダムの場合が多い。
- 水位低下速度：ダムによっては、水位を低下させるにあたり、貯水池の地すべりや下流河川の安全性などに考慮する必要があり、制約となる場合がある。

○利水容量内の放流設備の位置

低い位置に放流設備がない場合は、水位を低下させることのできる高さに制約がある



○放流能力

放流能力が小さい利水放流管等では、数日間で放流できる量に制約がある

○水位低下速度

水位を低下するにあたっては、下流河川や貯水池の安全性を考慮する必要がある

事前放流＝大雨の予測

- 事前放流は、**氾濫が発生するような大雨が予測**された場合に実施
- 「**事前放流＝大雨の予測**」のため、事前放流を実施している河川だけでなく、**周辺の河川の沿川でも大雨への備えが必要**
- 事前放流により、**雨が降る前から河川水位が上昇**する場合があるのでサイレンによる警報等、防災情報に留意が必要

事前放流実施の周知



事前放流を実施する場合、雨が降る前にダムからの放流により河川の水位が上昇することになるため、事前に影響のある区間に周知します。

■ダム下流警戒所からの注意喚起(サイレン・スピーカーの吹鳴)

【放流警戒の流れの一例】

【スピーカー吹鳴】

放流警戒の放送

ダムからの放流により河川の水位が上昇することを放送し、河川利用者に注意喚起。

【サイレン吹鳴】

吹 鳴

休 止

吹 鳴

休 止

吹 鳴

警戒所による注意喚起

スピーカー

サイレン

警戒車による注意喚起



■警戒車による注意喚起(警戒区間)

河川利用者への注意喚起

- ・ダムからの放流により河川の水位が上昇することを、ダム管理者が直接河川利用者に対して注意喚起を実施。
- ・警戒者による巡視を実施、加えて、警戒車に搭載されているスピーカー等からも注意喚起を実施する場合もある。

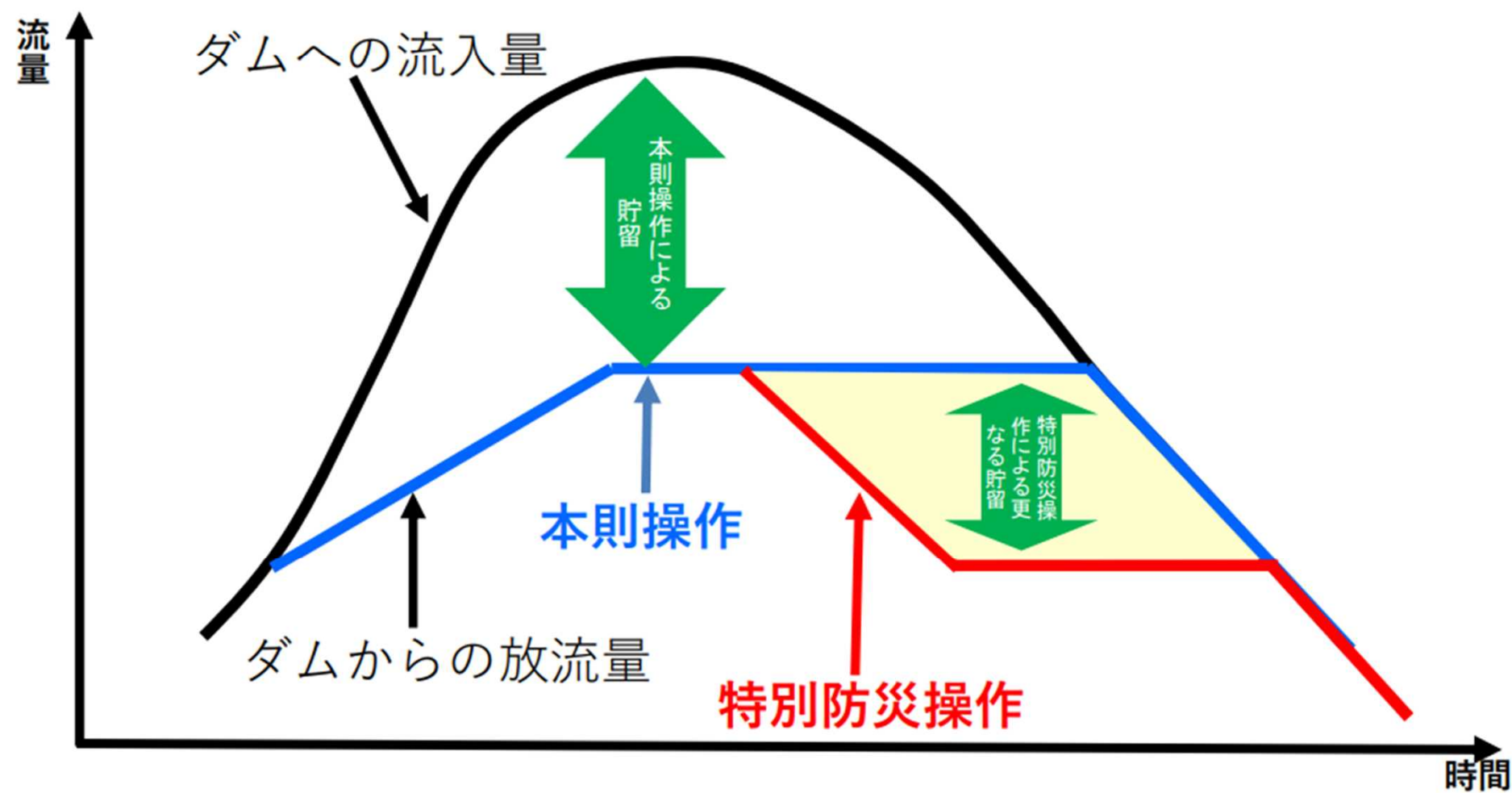
- **ダム下流河川の水位が高く、ダムに余力があるとき、通常の洪水調節操作よりもダムからの放流量を減らす「特別防災操作」を実施**

ダム容量に余力がある場合、さらに流量を抑制する特別防災操作を実施

特別防災操作

ダム下流河川で洪水被害が発生、又は発生のおそれがあり、操作可能な場合に、ダム下流河川管理者や自治体等からの要請に基づき、通常の洪水調節操作（本則操作）よりもダムからの放流量を少なくし、ダムに洪水を貯留することで下流河川の水位上昇を抑制する目的で行う操作。

操作可能な場合とは、次期出水のおそれがなく、洪水の終了が見通せ、ダムへの貯留が可能な場合のことを言う。



水害リスクが高いところはどこ？

- 「地形」や「河道形状」等から水害リスクが高い区間あり。
- 本川と支川の「合流部」
本川の水位が高いときに支川に逆流したり、
支川等が流れにくくなるため、**支川の氾濫リスク大**
- 川幅が急に狭くなる「狭窄部」
水位が上昇し、川の流れが滞りやすいため、
狭窄部の上流で氾濫リスク大
- 海岸付近の「河口部」
台風襲来時に高潮の影響により**潮位が高くなるため、**
海岸付近の河口部で氾濫リスク大

水害リスクが高いところはどこ？

バックウォーター（背水）の影響がある区間

○本川と支川の合流部では、本川の水位が高いときに支川に逆流するとともに支川の流下が妨げられるため、支川の水位が上昇し水害リスクが高まります。



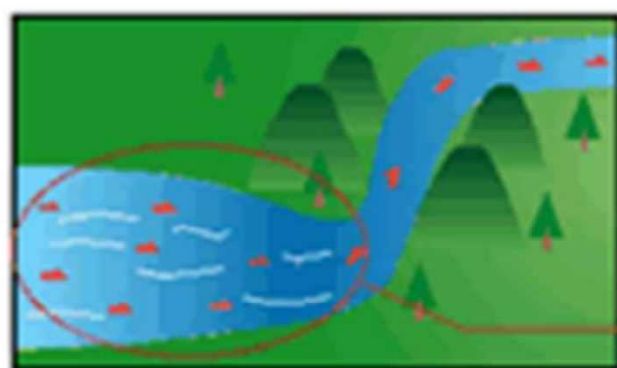
水害リスクが高いところはどこ？

狭窄部の上流

- 狭窄部とは、その上下流の川幅と比べ、川幅が急に狭くなる場所のことです。
- 川の流れが滞りやすいため、狭窄部の上流では特に水害リスクが高いです。



狭窄部では流れが悪くなります。



川幅が細くなっている所が狭窄部

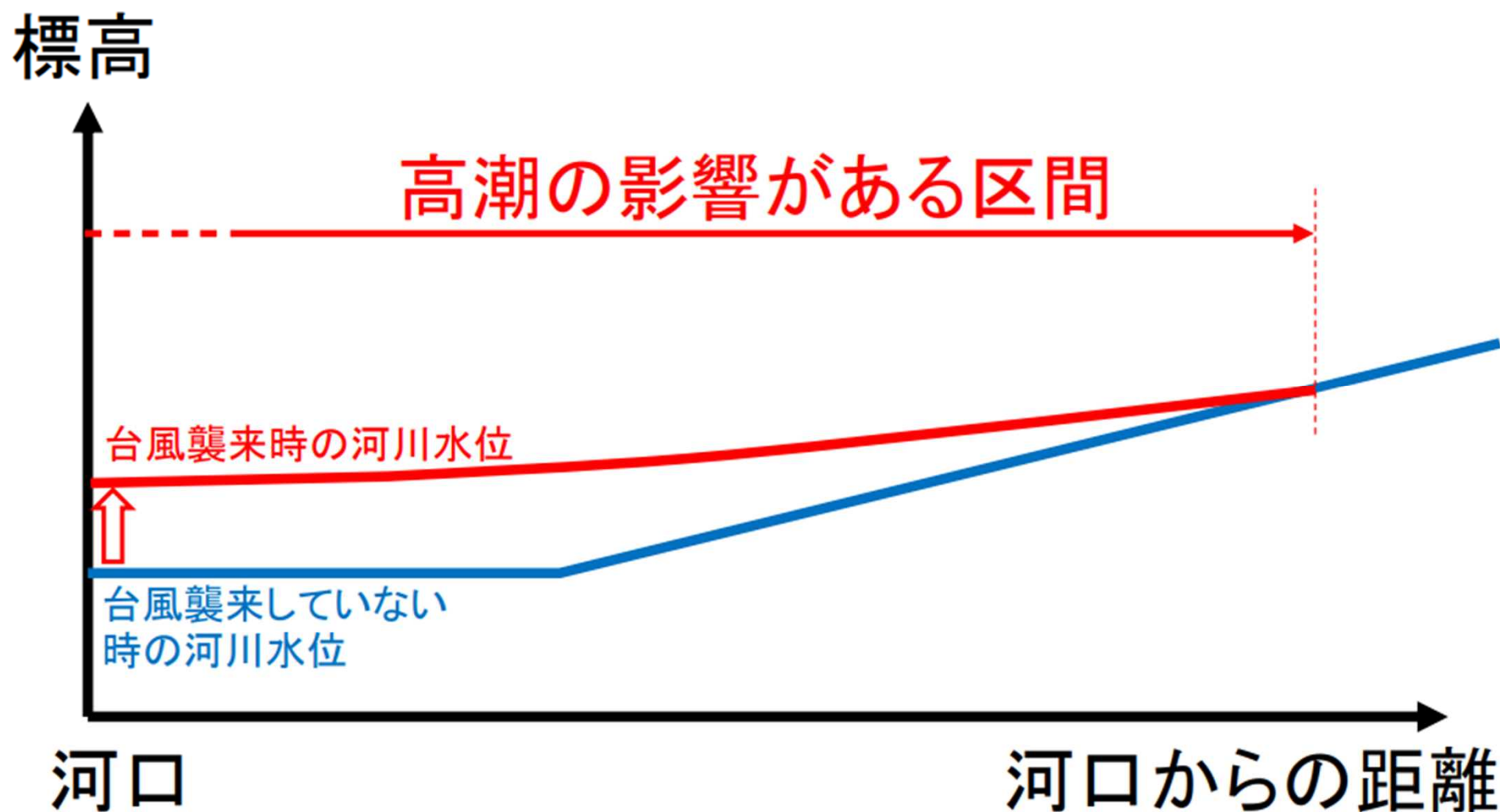
洪水時に狭窄部
で流れにくくな
り、上流側の水
位が上昇します。

狭窄部がある河川の例

千曲川（立ヶ花）
球磨川（山間）
大和川（亀の瀬）
紀の川（岩出） 等

水害リスクが高いところはどこ？

高潮の影響がある河口部



津波・高潮・高波の違い

- 津波は、地震により海面全体が盛り上がる現象
- 高潮は、低気圧（台風等）により海面が吸い上げられ上昇する現象



台風時に高潮と洪水の同時発生
の可能性が高い

- 高波は、強い風により大きな波が発生する現象

津波・高潮・高波の違い

○津波

- 海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底における地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされるもの

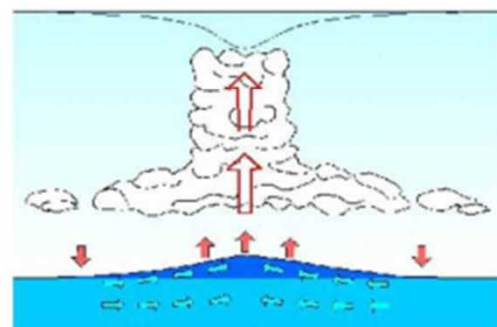


○高潮

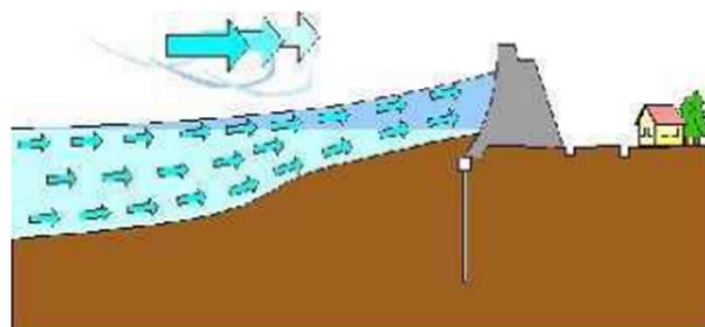
- 主に台風接近時などの気圧低下による海面の吸い上げや風による吹き寄せにより発生
- 地震による津波と異なり、潮位の高い状態が数時間にわたり発生する

○高波

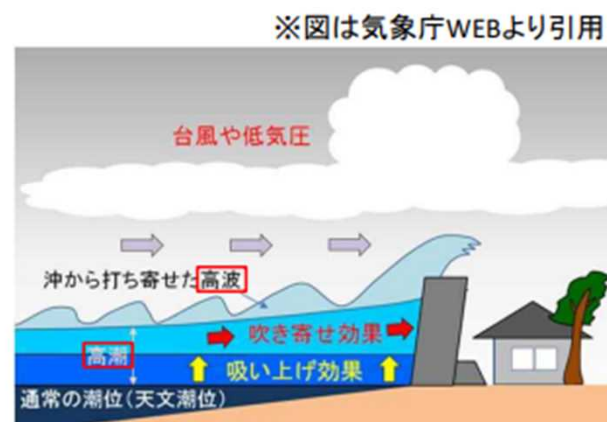
- 強風によって発生する波で、特に波浪注意報・警報の対象になる程度の高い波
- 高潮と同時に発生する可能性もある



気圧低下による吸い上げ効果のイメージ



風による吹き寄せ効果のイメージ



高潮・高波の同時生起のイメージ

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
異常洪水時防災操作	ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるよう近づけていき、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させること。
溢水	川の水が堤防のないところからあふれ出る現象。
XRAIN	高頻度、高分解能でリアルタイムに配信される平面的な雨量情報。
越水	川の水が堤防を乗り越えてあふれ出る現象。
大雨警報（土砂災害）	大雨による重大な土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される警報。
大雨特別警報（土砂災害）	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想される場合で、特に土砂災害に警戒すべきときに発表される特別警報。
屋内安全確保	ハザードマップを確認し、住民自らの判断で氾濫しても浸水しない安全な高さの居室に移動したり留まるなどして、安全を確保すること。
家屋倒壊等氾濫想定区域	川が氾濫した場合に、あふれた水や川岸の侵食により、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。
がけ崩れ	大雨や地震などで急な斜面が崩れ落ちること。
河道閉塞	大雨や地震などで崩れた土砂が、川の流れをせき止めること。
川裏	堤防の居住地側。
川表	堤防の川側。
記録的短時間大雨情報	その地域にとって数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測されたときなどに発表される情報。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
異常洪水時防災操作	ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるよう近づけていき、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させること。
溢水	川の水が堤防のないところからあふれ出る現象。
XRAIN	高頻度、高分解能でリアルタイムに配信される平面的な雨量情報。
越水	川の水が堤防を乗り越えてあふれ出る現象。
大雨警報（土砂災害）	大雨による重大な土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される警報。
大雨特別警報（土砂災害）	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想される場合で、特に土砂災害に警戒すべきときに発表される特別警報。
屋内安全確保	ハザードマップを確認し、住民自らの判断で氾濫しても浸水しない安全な高さの居室に移動したり留まるなどして、安全を確保すること。
家屋倒壊等氾濫想定区域	川が氾濫した場合に、あふれた水や川岸の侵食により、家屋が倒壊・流出するおそれがある区域。
がけ崩れ	大雨や地震などで急な斜面が崩れ落ちること。
河道閉塞	大雨や地震などで崩れた土砂が、川の流れをせき止めること。
川裏	堤防の居住地側。
川表	堤防の川側。
記録的短時間大雨情報	その地域にとって数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が観測されたときなどに発表される情報。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
緊急安全確保	①(避難情報として)警戒レベル5緊急安全確保は災害が発生・切迫した状況で、住民などに命の危険から少しでも身の安全を確保するよう指示するために、市町村長が発令する避難情報。 ②(避難行動として)主に①の発令時など、安全な避難ができない可能性がある状況下で命の危険から少しでも身の安全を確保するためにとる次善の行動。
緊急放流	ダムが満水に近づいたときに、ダムからの放流量をダムの流入量と同程度となるよう近づけていき(ゲートを有するダムの場合のみ)、満水になったら流入量をそのまま下流側に通過させること。
警戒レベル	災害時にとるべき行動や避難などの行動を促す情報を、災害の切迫度に応じて5段階のレベルで表したもの。
計画規模降雨	氾濫を防ぐための河川の整備の目標を定めた計画の基準として想定した大雨の降雨量。
決壊	堤防などが切れてくずれること。
降雨継続時間	一連の雨が降り始めてから降り終わるまでの時間。
洪水	①大雨により川から水があふれて氾濫すること(一般用語として使われる)。 ②大雨により川が増水すること(主に土木用語として使われる)。
洪水キキクル(危険度分布)	中小河川の氾濫が発生する危険度の高まりを、川の細かい区間ごとに色分けして示している地図。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
洪水警報	①増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表される気象警報（警戒レベル3相当情報[洪水]）。 ②洪水予報における氾濫警戒情報（警戒レベル3相当情報[洪水]）、氾濫危険情報（警戒レベル4相当情報[洪水]）、または氾濫発生情報（警戒レベル5相当情報[洪水]）。
洪水浸水想定区域	川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域。
洪水調節	ダムに洪水の一部を貯めて、下流河川の水量を減らして水位を下げること。
洪水の危険度分布	川の氾濫の危険度の高まりを、川の細かい区間ごとに両岸別で色分けして示している地図。
洪水予報	指定された河川において、川の水位の状況や今後の見込みを広く伝えるために発表される情報。
洪水予報河川	川の水位の状況や今後の見込みが発表される川。
高齢者等避難	警戒レベル3高齢者等避難は災害が発生するおそれがある状況で、高齢者や障害のある方及びその支援者等に避難を促すために、市町村長が発令する避難情報。
地すべり	斜面が塊となって滑り落ちる現象。
事前放流	大雨が予測される場合に、事前にダムの空き容量を確保（利水容量の一部を使用）するための放流。
指定緊急避難場所	災害から身の安全を守るために緊急的に避難する場所。
指定避難所	災害により自宅を失った場合などに一定期間避難生活をする場所。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
重要水防箇所	川が増水した時に、川の水があふれるなどの危険が予想される箇所。
出水	川が増水のこと。
深層崩壊	山の斜面が深いところから大規模に崩れる現象。
水位周知海岸	高潮による海面水位の状況が発表される海岸。
水位周知河川	川の水位の状況が発表される川。
水位到達情報	指定された河川において、川の水位の状況を広く伝えるために発表される情報。
線状降水帯	組織化した積乱雲群が数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される線状に伸びる強い降水をともなう雨域。
タイムライン	行政や交通の関係者が連携し、災害の進展に応じて行う防災行動を、時系列でとりまとめた計画。
高潮	台風や低気圧の接近に伴い、潮位が通常よりも大きく上昇すること。
高潮警報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される警報。
高潮特別警報	数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表される特別警報。
高潮氾濫発生情報	指定された海岸において、高潮による氾濫が発生、または氾濫発生が切迫している場合に発表される情報。
立退き避難	災害により危険な場所から安全な場所へ移動して避難すること。
潮位偏差	実際に観測される潮位から、天文潮位を引いたもの。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
堤外地	堤防より川側の土地。
堤内地	堤防より居住地側の土地。
堤防天端	堤防の上面や上端のこと。
天文潮位	月と太陽の起潮力によって変化する潮位。
土砂・洪水氾濫	上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道で堆積し、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。
土砂キキクル(危険度分布)	土砂災害が発生する危険度の高まりを、細かい地域ごとに色分けして示している地図。
土砂災害警戒区域	急斜面が崩れるなど土砂災害が発生した場合に住民などの生命又は身体に危害が生ずるおそれのある区域。
土砂災害警戒情報	命に危険が及ぶような土砂災害がいつ発生してもおかしくない危険な状況であることを伝える情報。
土砂災害特別警戒区域	土砂災害特別警戒区域。
土壌雨量指数	大雨による土砂災害リスクの高まりを把握するための指標。
土石流	大雨で崩れた土石が川の流れと一体となって一気に流下する現象。
内水氾濫	雨水が排水施設で川に排水できずに、宅地などにあふれること。
パイピング	川の水が堤防の下の地面を通り抜け、居住地側の地面などから土砂を含んだ水が出る現象。
ハザードマップ	その土地の災害に対する危険性や避難場所などが記されている地図。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

用語	概要
破堤	堤防の決壊のこと。
氾濫	川や水路などの水があふれ、川などの外に流れ出す現象。
氾濫危険情報	指定された河川において、川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を伝える情報。
氾濫危険水位	川からいつ水があふれ出してもおかしくない危険な状況を示す水位。
氾濫警戒情報	指定された河川において、川の増水により、今後氾濫するおそれがあることを伝える情報。
氾濫注意情報	指定された河川において、川の増水により、氾濫への注意を始める必要を伝える情報。
氾濫注意水位	川の増水により、氾濫への注意を始める必要を示す水位。
氾濫発生情報	指定された河川において、川の氾濫が発生したことを広く伝える情報。
避難指示	災害が発生するおそれが高まった状況で、住民などに危険な場所から避難するよう指示するために、市町村長が発令する避難情報。
避難判断水位	川の増水により、今後氾濫するおそれがあることを示す水位。
表層崩壊	斜面の表面をおおっている土壌の部分だけが崩れ落ちる現象。
府県気象情報	警報等に先立って警戒・注意を呼びかけたり、警報等の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説したりする情報。
マイ・タイムライン	水害や土砂災害などから命を守る避難行動がとれるよう、予め自分自身がとるべき行動を時間に沿って整理したもの。個人や家族の防災行動計画。

川の防災情報（防災用語ウェブサイト（水害・土砂災害））

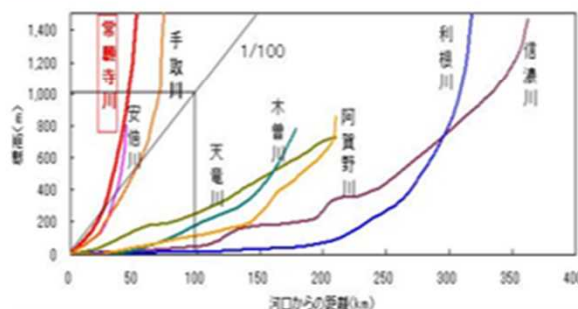
用語	概要
要配慮者利用施設	社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設。
予備放流	大雨が予測される場合に、事前にダムの空き容量を確保（洪水調節容量と利水容量を兼ねる容量を使用）するための放流。
ライブカメラ	インターネット等を通じて映像をリアルタイムに配信するシステム。各地の河川や道路沿いなどにも設置されている。
流域雨量指数	川の上流域に降った雨により、どれだけ下流の対象地点の洪水危険度が高まるかを把握するための指標。
流域平均雨量	川の流域内に降った雨量の平均値。
漏水	川の水が堤防などに浸み込み、居住地側の堤防斜面や地面から水が出る現象。

2. 富山県内の河川の特徴

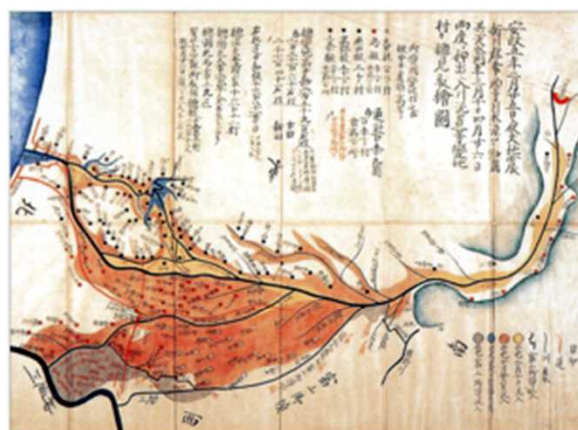
常願寺川 概要

- ・土砂供給が多く、流出した土砂により扇状地を形成
- ・3,000m級の立山連峰から日本海までの56kmを一気に流れ下る、我が国屈指の急流河川

- ・我が国屈指の急流河川
- ・河床勾配: 上流部約1/30、下流部約1/100



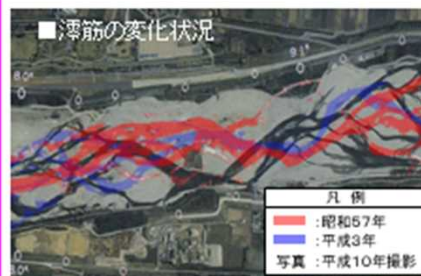
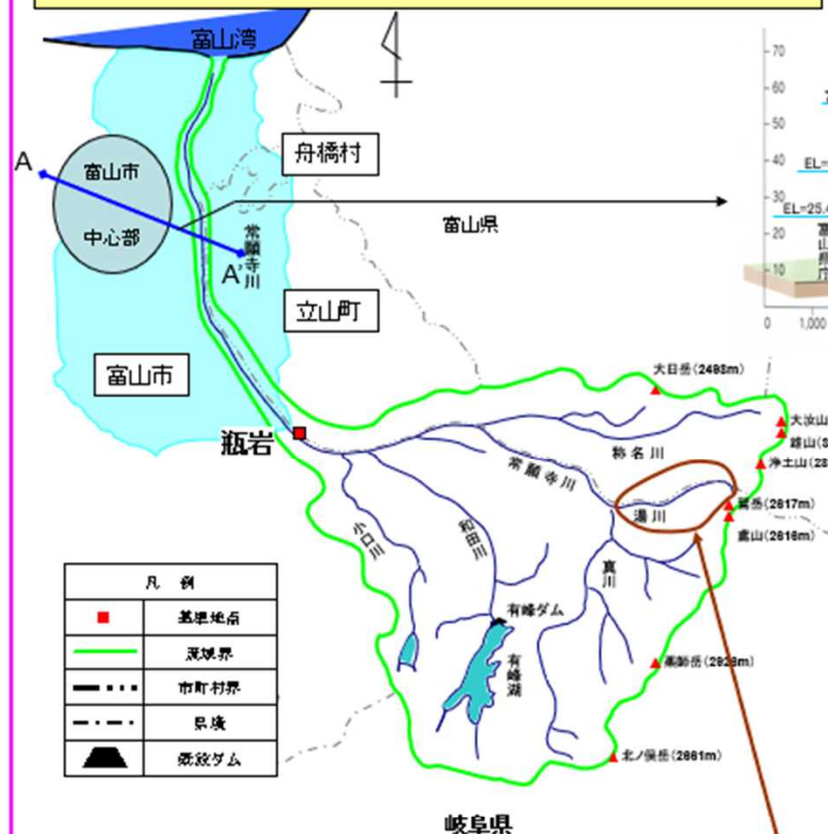
- ・安政5年(1858年)飛越地震にて鳶山一帯崩壊
- ・以後、常願寺川は荒廃河川に



安政五年常願寺川非常洪水山麓崩壊の様相を写した「里方図」所蔵 富山県立博物館

地震にて上流域で河道閉塞が発生。その後二度に渡り大決壊し、土石流となって富山城下を襲った。上図には当時の土石流の氾濫範囲(図中赤褐色)が描かれている。

- ・乱流・偏流が激しく、流路が不安定
- ・ひとたび破堤すれば、短時間で県都富山市に被害が及ぶ



■常願寺川扇状地断面図(A-A'断面)



神通川 概要

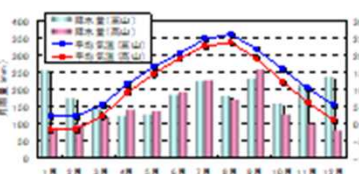
- 神通川は上流の岐阜県内で宮川と呼ばれ、富山県と岐阜県の県境で高原川を合わせて神通川となり、富山市街を貫流して日本海に注ぐ
- 上流部は高い山々に囲まれた内陸性気候、下流部は冬の積雪が多い日本海側気候であり、年平均降水量は上流部で約1,700mm、下流部で約2,200mm
- 下流の低平地は常願寺川との複合扇状地となっており、富山県の中心市街地を形成しているため、人口や資産が集中しており、ひとたび氾濫すると甚大な被害が発生する

流域及び氾濫域の諸元

流域面積(集水面積)	: 2,720km ²
(基準地点神通大橋上流)	: 2,688km ²
幹線流路延長	: 120km
流域内人口	: 約38万人
想定氾濫区域面積	: 約116km ²
想定氾濫区域人口	: 約22万人
想定氾濫区域内資産	: 約3兆9,000億円
主な市町村	: 富山市、南砺市、高山市、飛騨市

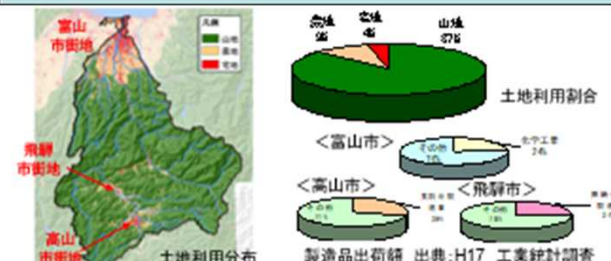
降雨特性

- ・ 日本海型気候区の下流部の年平均降水量は約2,200mm～2,500mmで全国平均より多く、冬季の積雪が多い
- ・ 内陸性気候区の上流部の年平均降水量は約1,700mm～2,000mmで全国平均程度で、夏季に雨が多い

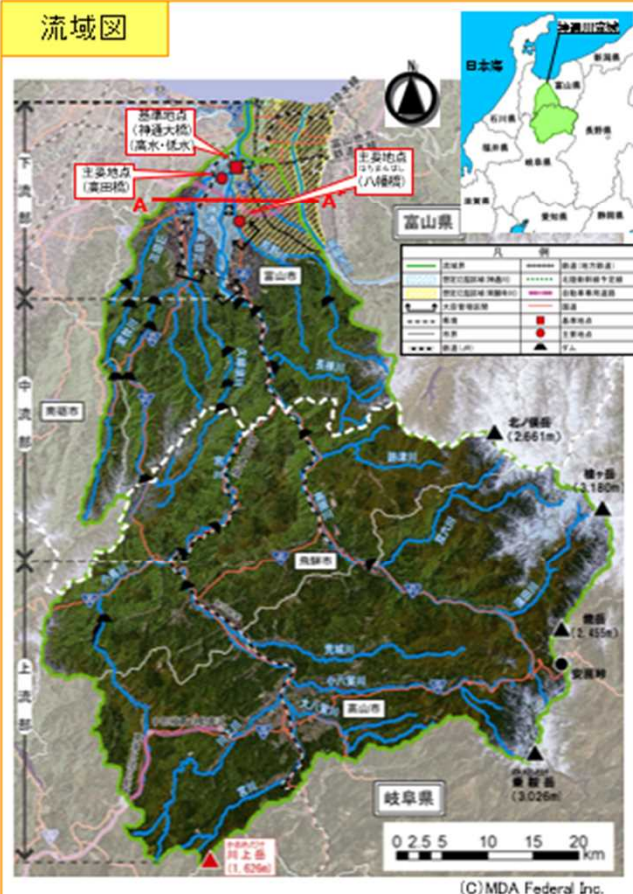


土地利用と主な産業

- ・ 流域の87%が山地であり、4%の宅地は下流の富山市と上流の高山市に集中
- ・ 下流部の富山県は化学、重工業が発達し、日本海側有数の工業地帯。富山市は医薬品製剤製造を含む化学工業が盛ん
- ・ 岐阜県の高山市は食料品製造業、飛騨市は非鉄金属製造業が盛ん

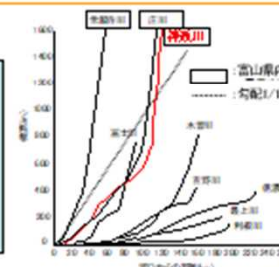


流域図



地形特性

- 河床勾配
 - ・ 河床勾配は、上流部で約1/20～1/150、中流部で約1/150～1/250、下流部で約1/250～ほぼ水平と平地部河川に比べ急流で、洪水時のエネルギーが大きく、侵食・洗掘による破堤等の危険性が高い



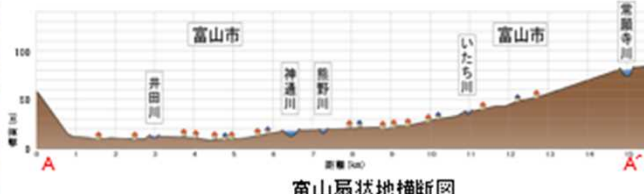
- 上流部
 - ・ 上流部には飛騨高原が広がり、高原盆地を侵食する多くの支川と高山・古川などの盆地群がある。上流の宮川は観光地で名高い高山市街地の中心を流下している



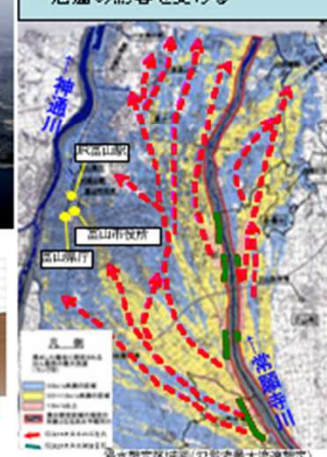
- 中流部
 - ・ 低山地が迫り、峡谷が続いている



- 下流部
 - ・ 神通川と常願寺川による複合扇状地を形成し、そこから下流は富山平野が広がっている



- ・ 神通川下流部は常願寺川の氾濫の影響を受ける



庄川 概要

流域及び氾濫域の諸元

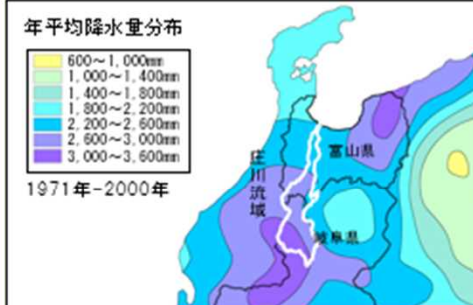
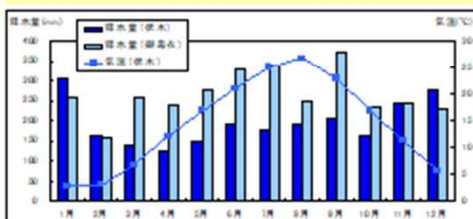
流域面積(集水面積) : 1,189km²
 幹川流路延長 : 115km
 流域内人口 : 約2.8万人
 想定氾濫区域面積 : 241.7km²
 想定氾濫区域内人口 : 約25.6万人
 想定氾濫区域内資産額 : 4兆3,700億円
 主な市町村 : 高岡市、砺波市、射水市



- 年平均降水量は、平野部で約2,300mm、山地部で約3,200mmと多く、全国有数の多雨多雪地帯
- 河床勾配は、上・中流部で約1/100、下流部で約1/200と我が国屈指の急流河川
- 下流域においては、庄川用水合口ダム付近を扇頂とする扇状地が形成され、ひとたび氾濫すると拡散型の氾濫形態となり、人口・資産の集中する高岡市等の主要都市をはじめ広範囲に甚大な被害がおよぶ

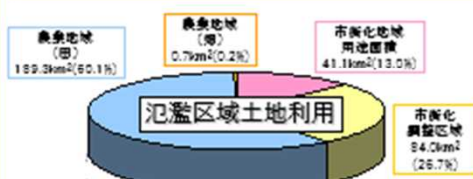
降雨特性

- ・年平均降水量は約2,300～3,200mmと多く全国でも有数の多雨多雪地帯



土地利用状況と産業

- ・氾濫区域は主に水田として利用
- ・高水敷は約2割が公園・緑地として利用

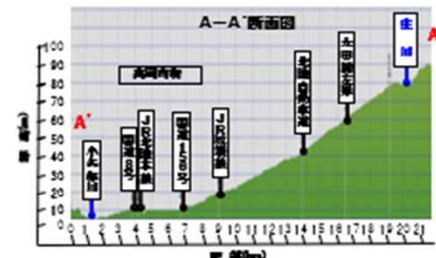
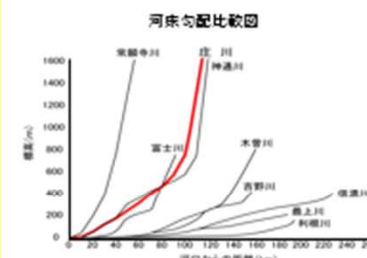


- ・アルミ、パルプ、重化学工業等が盛ん
 - 高岡市(パルプ等全国出荷額 : 10位)
 - 砺波市(電子部品等全国出荷額: 12位)
 - 南砺市(木製製品等全国出荷額: 5位)
 - 射水市(非鉄金属等全国出荷額: 3位)
- 経済産業省「H16工業統計調査」より

地形特性

■下流部(氾濫区域)の特性

- ・河床勾配は約1/200と急流
- ・砺波市庄川町青島を扇頂部とする扇状地を形成
- ・富山県内一の穀倉地帯(砺波平野、射水平野)を貫流
- ・氾濫流は拡散し災害ポテンシャルが高い



■上流部(源流部)の特性

- ・河床勾配は上・中流部で約1/100
- ・庄川により形成された河岸段丘には、世界遺産白川郷(荻町)、五箇山(相倉、菅沼)の合掌集落(世界遺産)が存在

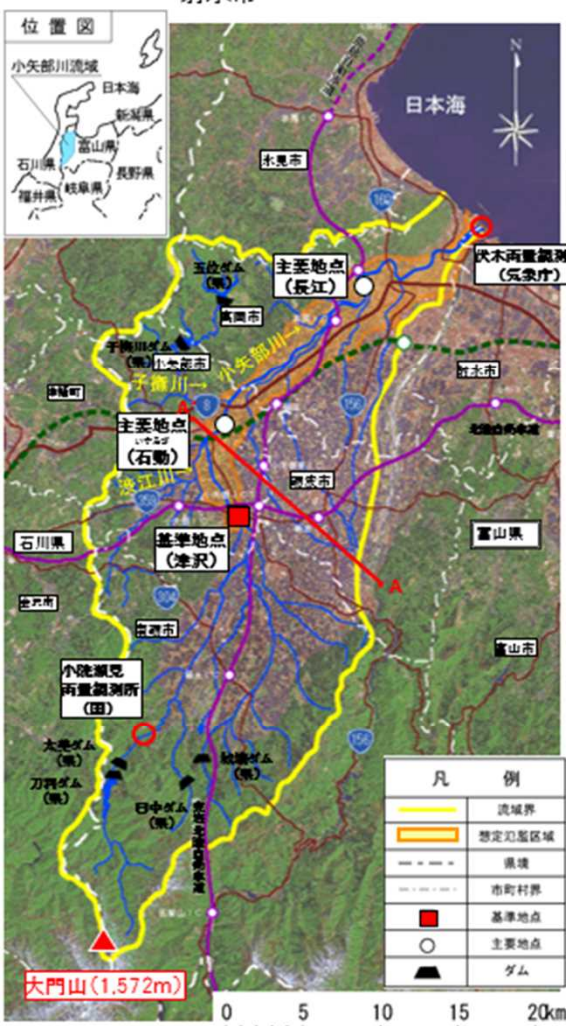


世界遺産白川郷合掌集落

小矢部川 概要

流域及び氾濫域の諸元

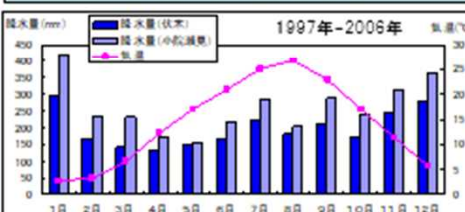
流域面積(集水面積) : 667km²
 幹川流路延長 : 68km
 流域内人口 : 約30万人
 想定氾濫区域面積 : 140km²
 想定氾濫区域内人口 : 約15万人
 想定氾濫区域内資産額 : 約2兆7,000億円
 主な市町村 : 高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市



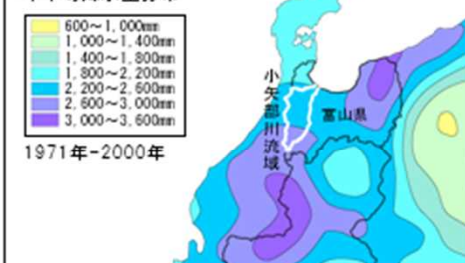
- 流域の年平均降水量は、平野部で約2,400mm、山地部で約3,100mmと多く、全国平均を大きく上回る
- 下流部においては、庄川によって形成された扇状地の西側扇端付近に沿って蛇行しながら流下
- 河床勾配は、上流部で約1/100、下流部で約1/1,000の緩流河川

降雨特性

・年平均降水量は約2,400~3,100mmと多く全国でも有数の多雨多雪地帯

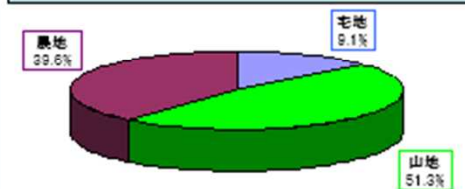


年平均降水量分布



土地利用と主な産業

・流域の70%が平野部を貫流し、その流域で発達した用水網を活用した水田や畑の利用が多く、その割合は流域の約40%におよぶ



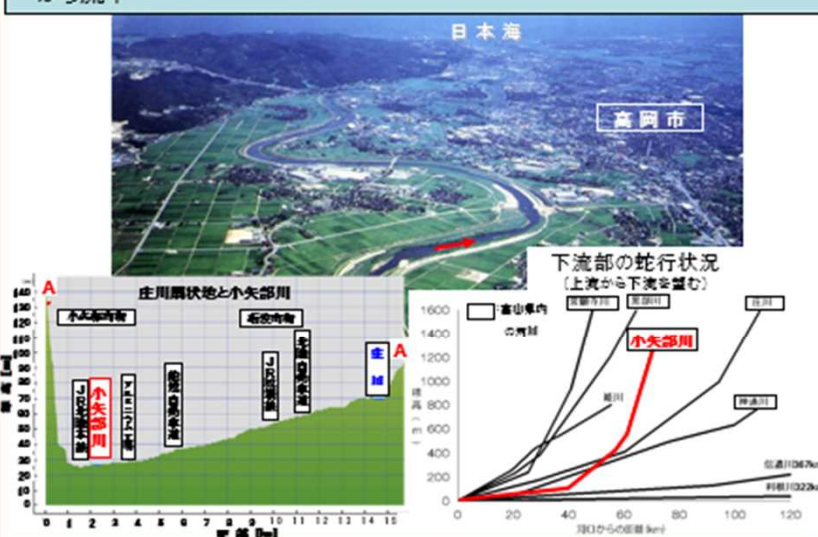
・アルミ、パルプ、重化学工業等が盛ん

高岡市(パルプ等全国出荷額 : 10位)
 砺波市(電子部品等全国出荷額: 12位)
 南砺市(木製製品等全国出荷額: 5位)

経済産業省「H16工業統計調査」より

地形特性

- 下流部
 - ・流路の大半が平野部を流れているため、下流部の河床勾配は約1/1,000と富山県内では比較的緩やか
 - ・下流域は庄川により形成された扇状地の扇端付近に沿って大きく蛇行しながら流下



- 上流部
 - ・源流付近の地形は急峻で河床勾配は約1/100と急勾配
 - ・太美山層群や岩稲層群など硬い岩石で構成され、険しい峡谷や河岸段丘を形成



河岸段丘の状況
 (南砺市土生地先から水源地を望む)

上流部の峡谷状況
 (刀利ダム上流の長静峡)

黒部川 概要

◆流域の諸元

流域面積	: 682 km ²
幹川流路延長	: 85 km
流域内人口	: 約3千人
想定氾濫区域面積	: 84.6 km ²
想定氾濫区域内人口	: 約5.7万人
土地利用	: 山地99%
(森林: 58.7%・自然公園: 41.1%)	
想定氾濫区域内資産額	: 10,862億円

- ・上流荒廃地からの土砂流出が著しく、流出した土砂により扇状地が発達
- ・流域は多雨地帯であるとともに、山地部は約1/5～1/80、扇状地部は約1/100の急流河川
- ・上流域は県内随一の観光地であり、下流域の臨海性扇状地には人口及び資産が集中

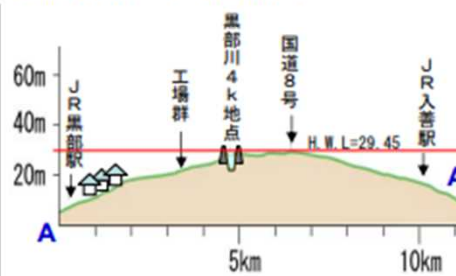
地形・地質

- ・氾濫流は拡散し非常に大きな災害ポテンシャル

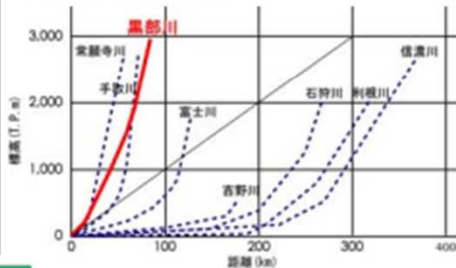
■氾濫区域内の特性



◆黒部川氾濫区域横断面図

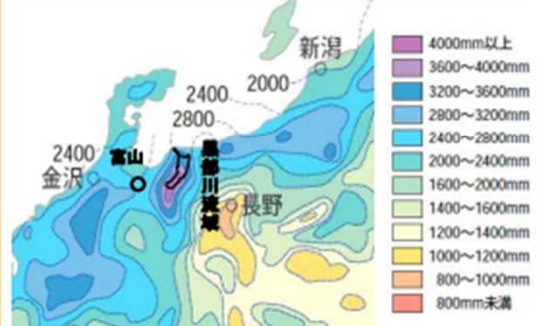
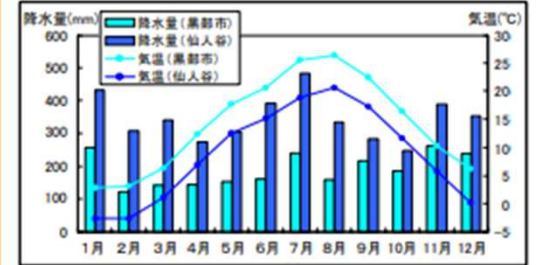


◆河床勾配比較図



降雨特性

- ・年間降水量は約3,000～4,000mm
- ・全国有数の多雨多雪地帯



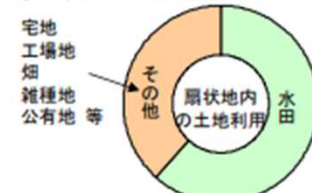
上流域は、急峻な地形や脆弱な地質による崩壊の多発地帯であり、土砂流出が著しい



上流域の崩壊地(小黒部谷、祖母谷)

産業と土地利用

- ・扇状地内の約6割で稲作が行われている
- ・豊富な水と安価な電力を背景にファスナー(世界第1位)、アルミ産業が立地
- ・黒部ダム等のシリーズ発電により最大出力約97万kW、包蔵水力量約3,500GWh(全国第8位)の水力量
- ・上流域の「黒部峡谷」は県内随一の観光地



ファスナー生産世界第1位
 (生産量の約5割)

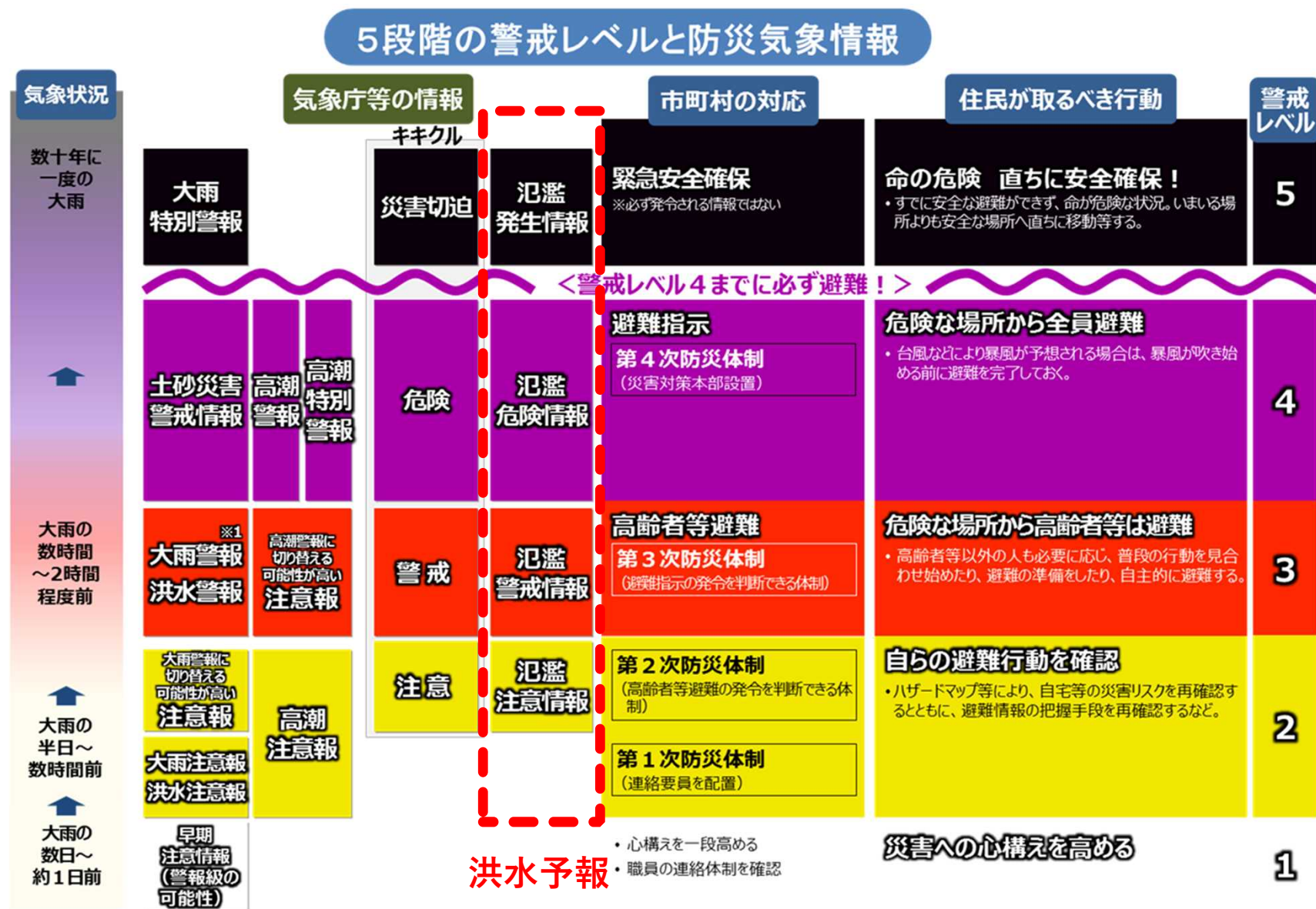


黒部ダム
 (立山黒部アルペンルート)



3. 危険を伝える情報

河川の増水・氾濫の危険を伝える情報 ～警戒レベルと相当する防災気象情報～



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

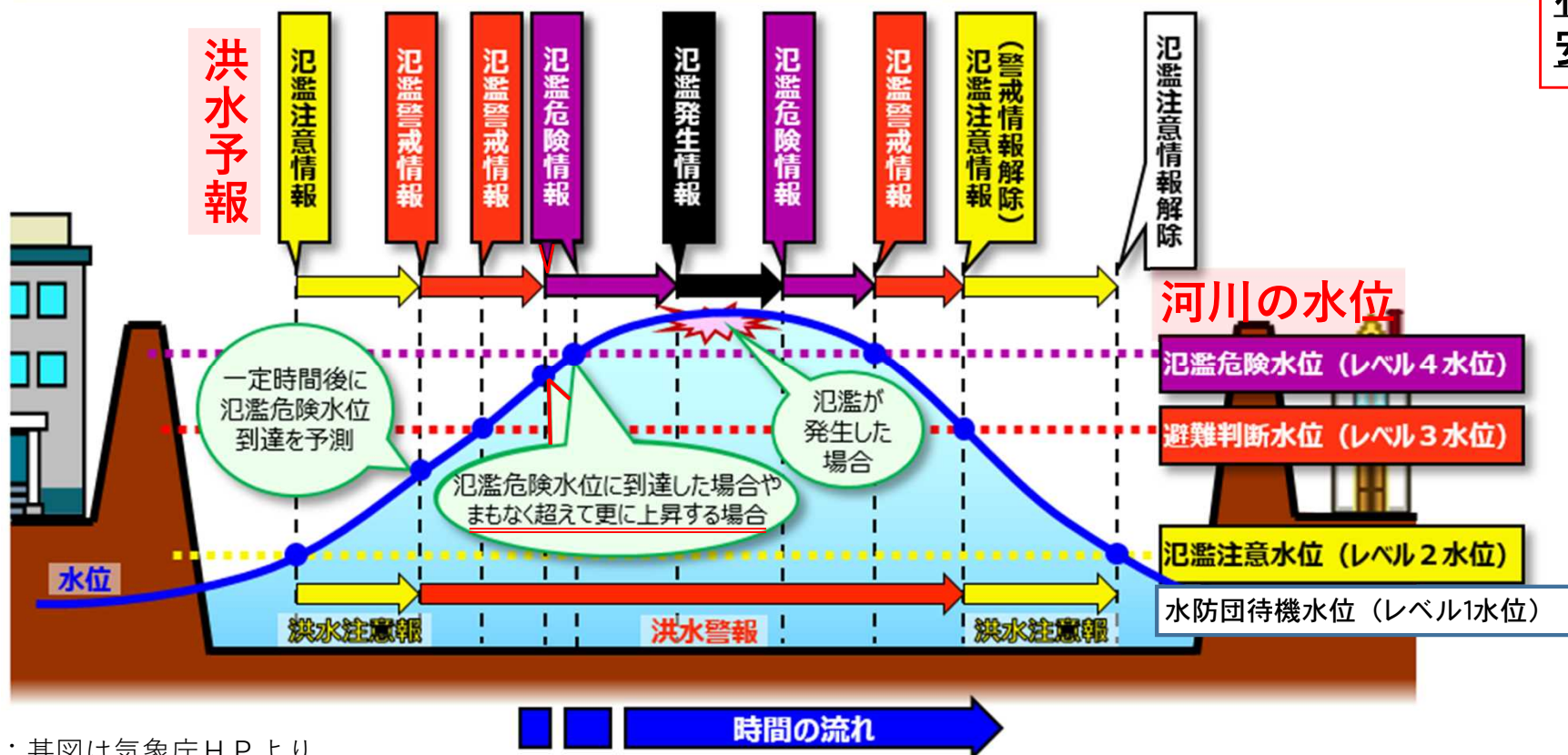
「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

河川の増水・氾濫の危険を伝える情報

～指定河川洪水予報～

洪水予報の標題（種類）	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生 (氾濫水の予報)	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】
〇〇川氾濫危険情報 (洪水警報)	急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれる場合、あるいは氾濫危険水位に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階 【警戒レベル4相当】
〇〇川氾濫警戒情報 (洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】
〇〇川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階 【警戒レベル2相当】

令和4年6月より、河川水位が氾濫危険水位に到達していなくても、まもなく(3時間先までの予測水位が)超えることが見込まれる場合には、氾濫危険情報（レベル4相当：避難指示の目安）を前倒しで発表。



水防警報

水防団による
水防活動
河川巡視 など

水防警報（出動）

水防警報（待機）

管内における洪水予報等発表状況

■富山県内において、氾濫注意水位に到達し、洪水予報や水位到達情報を発表したのは、過去10年間（H27～R6）で53洪水・観測所

R6.7.5現在

河川名	黒部川	常願寺川	神通川		井田川	熊野川	庄川		小矢部川			澁江川	合計
観測所名	愛本	大川寺	大沢野大橋	神通大橋	杉原橋	熊野川橋	小牧	大門	津沢	石動	長江	蓮沼	
H27								1					1
H28						1							1
H29	1			1	1〈1〉		1	2	1	2	3《1》		12
H30	1			1			2	2		1	2		9
R1						1		1		1	1		4
R2	1		1	1				1					4
R3			1	1				1					3
R4	2							1	1	1	1	1	7
R5	0			2		1			1	1〈1〉	2《1》	1	8
R6	2			1							1		4
合計	7		2	7	1	3	3	9	3	6	10	2	53

数字は、年間を通して洪水予報等が発表された洪水の数

《 》 :はん濫危険水位に到達し「はん濫危険情報」を発表した洪水の数(内数)

〈 〉 :避難判断水位に到達し「はん濫警戒情報」を発表した洪水の数(内数)

4. 防災情報の入手方法

水害リスクラインの利用方法（洪水の危険度レベル）

- 水害リスクラインでは**洪水の危険度レベル**を確認することが出来る！

水害リスクライン <https://frl.river.go.jp/>

水害リスクライン

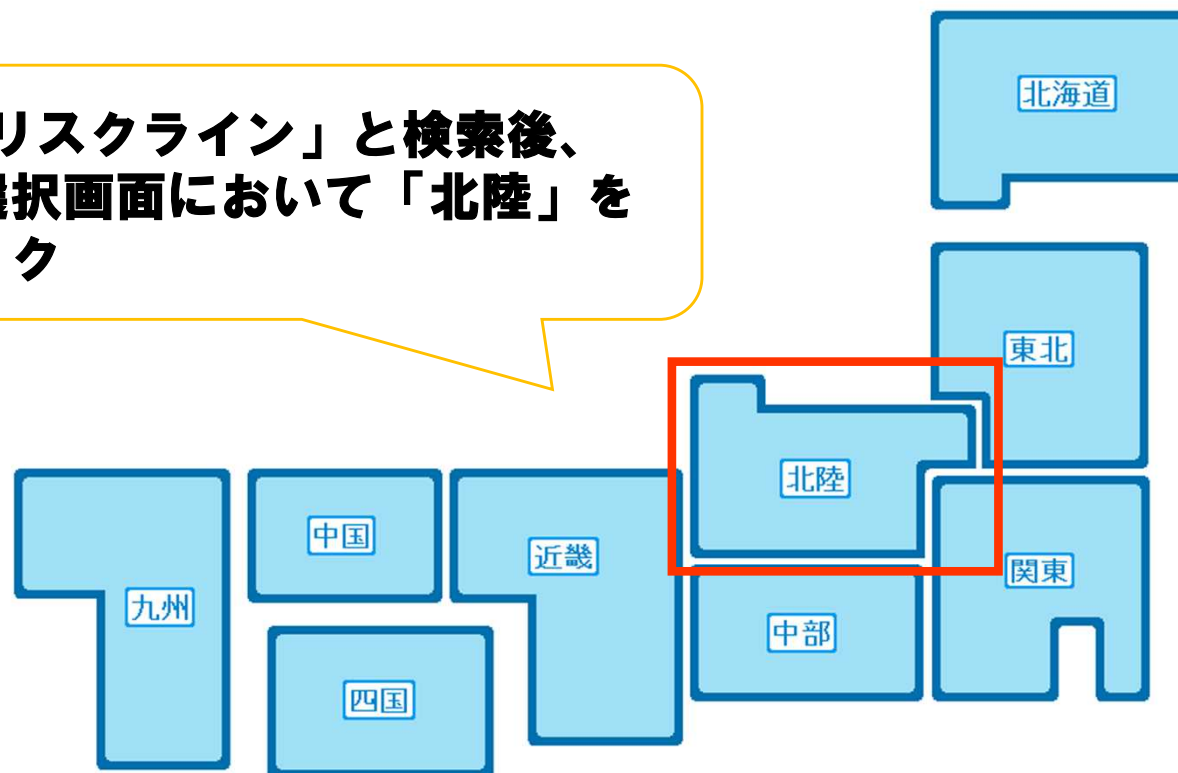
検索



水害リスクライン

■ 地方選択画面

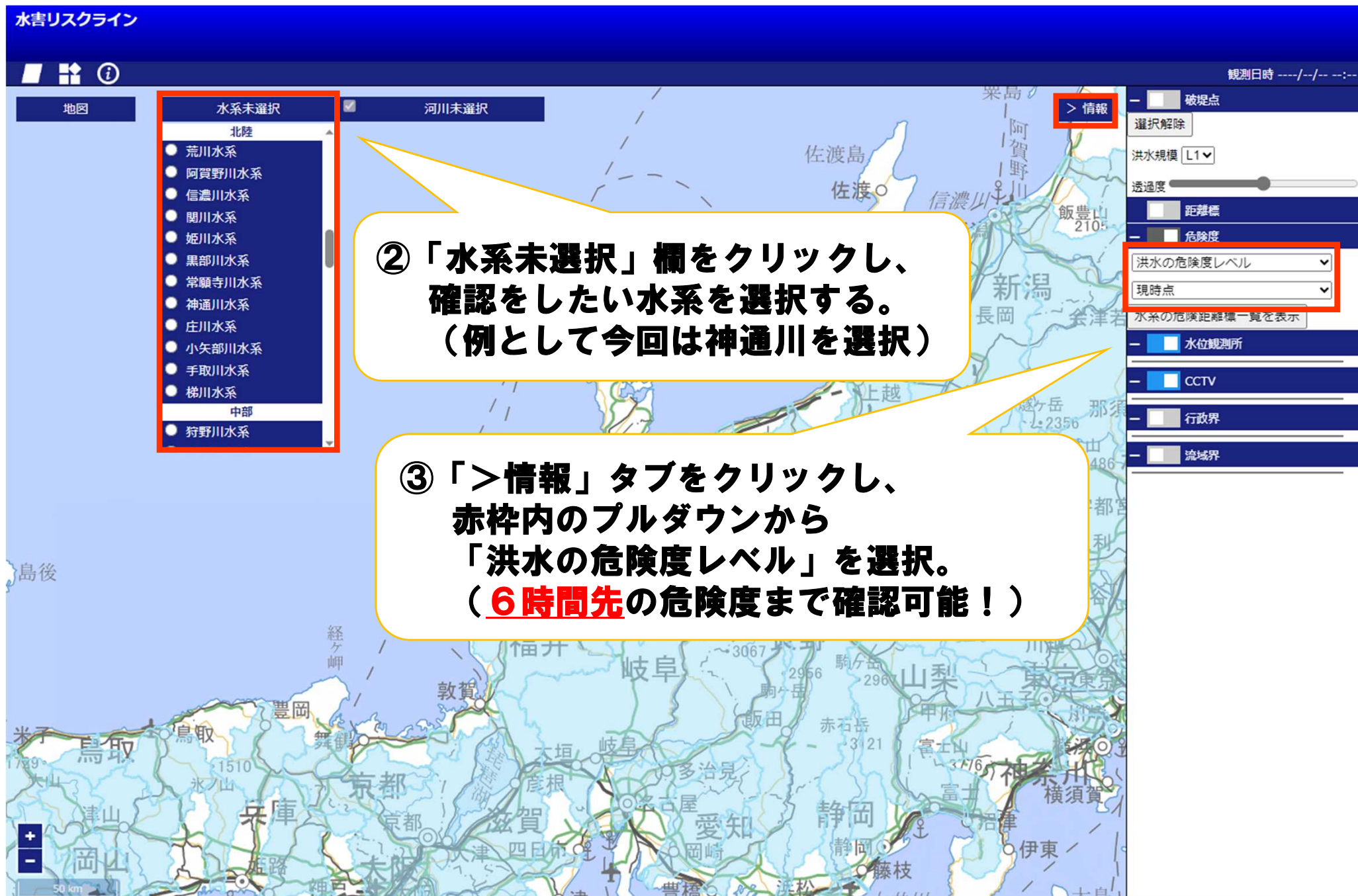
① 「水害リスクライン」と検索後、
地方選択画面において「北陸」を
クリック



ご利用にあたって

■「水害リスクライン」は、観測又は計算した河川水位と河道断面の測量データ等をもとに、区間ごとの越水の危険性を示したものです。■本サイトは、国が管理する河川の水害リスクライン情報を提供するものです。■計算値により危険性を評価していることから、「水害リスクライン」が示す河川の状況は、実際の状況と異なる場合があります。また、通信状況等によりデータ更新に遅延が生じる場合があります。洪水時には、水位観測所の水位情報、指定河川洪水予報、市町村からの避難情報等に応じて適切に対応して下さい。■本サイトは、システムの保守等を目的として、予告なく表示画面の変更、閲覧の中断、停止等の措置をとることがあります。ご了承ください。■国は、利用者がコンテンツを用いて行う一切の行為（コンテンツを編集・加工等した情報を利用することを含む。）について何ら責任を負うものではありません。■閲覧には、Firefox、Google Chrome、Internet Explorer（OSがWindows10の場合）を推奨しております。これら以外の閲覧環境では、コンテンツが表示されない、動作が遅いといった不具合が生じることがあります。

水害リスクラインの利用方法（洪水の危険度レベル）



水害リスクラインの利用方法（洪水の危険度レベル）



川の防災情報の利用方法（富山県内河川の水位状況把握）

川の防災情報 <https://www.river.go.jp>

川の防災情報

検索



国土交通省
川の防災情報

Twitterボタン機能の一時停止について

全国の洪水の危険度（洪水予報等）^②

発表情報はありません

情報の探し方を選ぶ

サイト内検索

フリー検索 市町村名から検索 河川名から検索 観測所名から検索

検索したいキーワードを入力してください（最大3...） 検索

地点を登録 地点を登録 地点を登録

地図から探す

日本地図を拡大し、見たい地域を選択できます。

市町村から探す

市町村内の各種情報をまとめて確認できます。

並べて見る

気象や水害・土砂災害に関する今の情報を確認できます。（情報マルチモニタ）

①「川の防災情報」と検索後、ホーム画面において「市町村から探す」をクリック

【注意点】

- ・IE（インターネットエクスプローラー）では表示できません。
- ・閲覧の際は、「Microsoft Edge」「Google Chrome」「Safari」からご覧ください。

川の防災情報の利用方法（富山県内河川の水位状況把握）

国土交通省
川の防災情報

富山県
未選択
表示
地図で確認

洪水予報等
ダム放流通知
観測所情報
避難情報

水位観測
水位計
カメラ
ダム

② プルダウンから「富山県」を選択後、「観測所情報」を選択し「表示」をクリック

観測所名	河川名	水位(m)	基準水位(m)			所在地	管理者
			氾濫注意	避難判断	氾濫危険		
うなづき 宇奈月	くろべがわすいけい 黒部川水系 黒部川	190.87 ↑	--	--	--	とやまけんくろべしうなづきまちおとぎわ 富山県黒部市宇奈月町音澤	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
あいもと 愛本	くろべがわすいけい 黒部川水系 黒部川	124.32 →	127.95	129.92	131.38	とやまけんくろべしうなづきまちあいもとひがしづめかんりんちない 富山県黒部市宇奈月町愛本橋爪東官林地内	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
あいもと（かりゅう） 愛本（下流）	くろべがわすいけい 黒部川水系 黒部川	124.32 →	127.95	132.21	133.08	とやまけんくろべしうなづきまちあいもとひがしづめかんりんちない 富山県黒部市宇奈月町愛本橋爪東官林地内	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
やたそう 弥太蔵	くろべがわすいけい 黒部川水系 弥太蔵谷	0.13 →	--	--	--	とやまけんくろべしうなづきまちおとぎわ 富山県黒部市宇奈月町音澤	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
くろなぎ 黒薙	くろべがわすいけい 黒部川水系 黒薙川	0.75 →	--	--	--	とやまけんくろべしうなづきくろべおくやまこくゆうりん 富山県黒部市宇奈月黒部奥山国有林	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
こくろべいちごう 小黒部1号	くろべがわすいけい 黒部川水系 小黒部谷	0.38 ↓	--	--	--	とやまけんくろべしうなづきくろべおくやまこくゆうりん 富山県黒部市宇奈月黒部奥山国有林	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
ばばだにかりゅう 祖母谷下流	くろべがわすいけい 黒部川水系 祖母谷	0.19 →	--	--	--	とやまけんくろべしうなづきくろべおくやまこくゆうりん 富山県黒部市宇奈月黒部奥山国有林	くろべかせんじむしょ 黒部河川事務所
おみ 小見	じょうがんじがわすいけい 常願寺川水系 常願寺川	0.14 →	--	--	--	とやまけんとやましおみ 富山県富山市小見	たてやまさぼうじむしょ 立山砂防事務所
かめいわ 瓶岩	じょうがんじがわすいけい 常願寺川水系 常願寺川	1.74 ↑	--	--	--	とやまけんなかにいわくんとてやままちよこえ 富山県中新川郡立山町横江	とやまかせんこくどうじむしょ 富山河川国道事務所
だいせんじ 大川寺	じょうがんじがわすいけい 常願寺川水系 常願寺川	0.75 →	5.10	5.24	6.61	とやまけんとやましおおやまうえの 富山県富山市大山上野	とやまかせんこくどうじむしょ 富山河川国道事務所
じょうがんじばし 常願寺橋	じょうがんじがわすいけい 常願寺川水系 常願寺川	1.69 →	--	--	--	とやまけんとやましみずはしいちだぶくろ 富山県富山市水橋市田袋	とやまかせんこくどうじむしょ 富山河川国道事務所
おおさわのおおはし 大沢野大橋	じんづうがわすいけい 神通川水系 神通川	0.70 →	5.10	6.10	6.60	とやまけんとやましつばら 富山県富山市葛原	とやまかせんこくどうじむしょ 富山河川国道事務所
とやまこうこう 富山空港	じんづうがわすいけい 神通川水系 神通川	、				とやまけんとやましあきがしま	とやまけん

富山県内の各水位観測所のリアルタイム水位が確認可能です。
各観測所毎の基準水位も掲載されているため、まとめて確認・比較を行いたい際は、当該方法で確認願います。

川の防災情報の利用方法（詳細な水位状況把握）





全国の洪水の危険度（洪水予報等） 

発表情報はありません

情報の探し方を選ぶ

サイト内検索

フリー検索 市町村名から検索 河川名から検索 観測所名から検索

検索したいキーワードを入力してください（最大3... 

自宅等のリスクを調べる

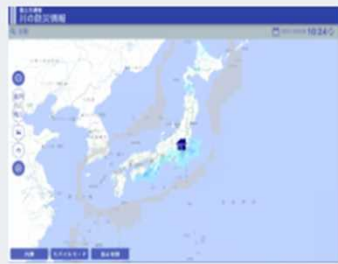
登録した地点の状況を確認できます。

地点を登録

地点を登録

地点を登録

地図から探す



日本地図を拡大し、見たい地域を選択できます。

市町村から探す



市町村内の各種情報をまとめて確認できます。

並べて見る



気象や水害・土砂災害に関する今の情報を確認できます。（情報マルチモニタ）

情報の種類から探す



洪水予報等
川の水位の状況や今後の見込みを伝える洪水予報。川の水位の状況を伝える水位到達情報。



ダム放流通知
ダムの放流に関するお知らせ。



観測所等の地図情報
全国の観測所の水位や画像、ダムの状況を表示。



水害リスクライン
洪水の危険度の高まりを、地図上で概ね200mごと、両岸別に示した情報。

川の状況を調べる

③ 「川の状況を調べる」より、
「観測所等の地図情報」を選択。

61

川の防災情報の利用方法（詳細な水位状況把握）

国土交通省
川の防災情報

2023/08/09 20:08

Twitterボタン機能の一時停止について

④ 自宅付近の河川等、確認したい場所（富山県）に向けて地図を拡大する。

＜参考までに・・・＞
画面右側「観測所一覧」では、
地図の表示範囲内の都道府県において、各水位基準を超過している観測所がある場合に、水位状況が表示される仕様！

地図中の観測所一覧

市町村別	河川別
岡山県	水位観測中
広島県	水位観測中
山口県	
徳島県	水位観測中
香川県	水位観測中
愛媛県	水位観測中
高知県	氾濫注意水位超過
福岡県	水位観測中
佐賀県	水位観測中
長崎県	
熊本県	
大分県	氾濫注意水位超過
宮崎県	避難判断水位超過
鹿児島県	氾濫危険水位超過
沖縄県	

川の防災情報の利用方法（詳細な水位状況把握）

国土交通省
川の防災情報

富山県富山市 2023/08/09 19:05

Twitterボタン機能の一時停止について

⑤ 神通大橋水位観測所の水位を確認するために、赤枠内の「」を選択。
：水位観測所
：CCTVカメラ

地図中の観測所一覧

- 水位観測
- 水位計
- カメラ
- ダム
- 雨量
- 海岸
- 積雪
- 水質

市町村別 河川別

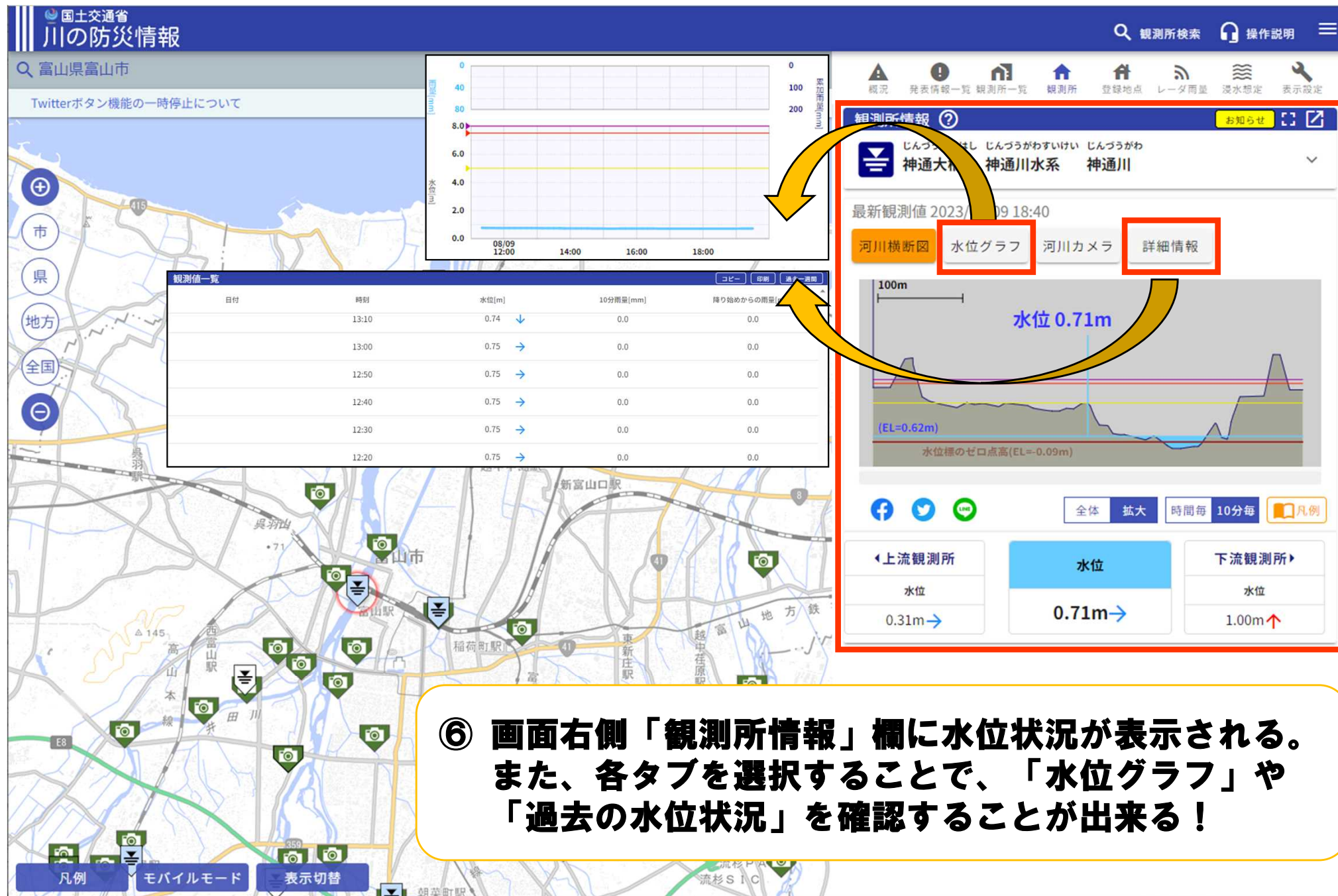
富山県 水位観測中 一覧情報へ

【凡例】 水位観測

- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過
- 水防団待機水位超過
- 平常
- 基準水位なし
- 欠測

凡例 モバイルモード 表示切替

川の防災情報の利用方法（詳細な水位状況把握）



川の防災情報の利用方法（河川の状態把握）

- 川の防災情報では、CCTVカメラの映像が確認可能！
河川の状態が気になる際は、当該システムから確認願います。
※ 河川増水時に川の様子を見に行くことは、危険なため絶対に止めて下さい！



「平常時」と「現在」のキャプチャ画像を比較出来る！
「現在」の画像は10分毎に更新される。

河川監視用CCTVカメラ配置図（直轄河川）



カメラ台数

	常願寺川	神通川			庄川	小矢部川		合 計
		本線	井田川	熊野橋		本線	渋江川	
通常型	11	11	7	4	11	18	1	63
全方位型	0	1	0	0	1	1	0	3
簡易型	2	2	1	0	1	4	0	10
合 計	13	14	8	4	13	23	1	76

富山河川国道事務所X

検索

公式アカウント：@mlit_toyama
※フォロー：15,475（R6.6.3時点）

河川や道路の防災情報を発信しています。

パソコン：https://twitter.com/mlit_toyama
 スマホ・携帯電話：https://mobile.twitter.com/mlit_toyama

国土交通省 富山河川国道事務所
@mlit_toyama

【小矢部川 増水しています】
 20時20分時点、小矢部川 長江水位観測所（高岡市）では#水防団待機水位を超えて、さらに水位は上昇しています。
 危険ですので、川には近づかないで下さい。
river.go.jp

小矢部川水系 小矢部川 左岸 11.2k

富山県高岡市佐加野 長江

午後8:39・2024年5月28日・8,084 件の表示

山 ポストのエンゲージメントを表示

国土交通省 富山河川国道事務所
@mlit_toyama

【神通川 増水しています】
 21時30分時点、神通川 神通大橋水位観測所（富山市）では#氾濫注意水位を超えて、さらに水位は上昇しています。
 危険ですので、川には近づかないで下さい。
river.go.jp

神通川水系 神通川 左岸 7.0k

富山市駒見 神通大橋

午後9:45・2024年5月28日・2.1万 件の表示

山 ポストのエンゲージメントを表示

🗨️

🔄 43

❤️ 73

🔖 1

📎

🗨️

🔄 73

❤️ 99

🔖

📎

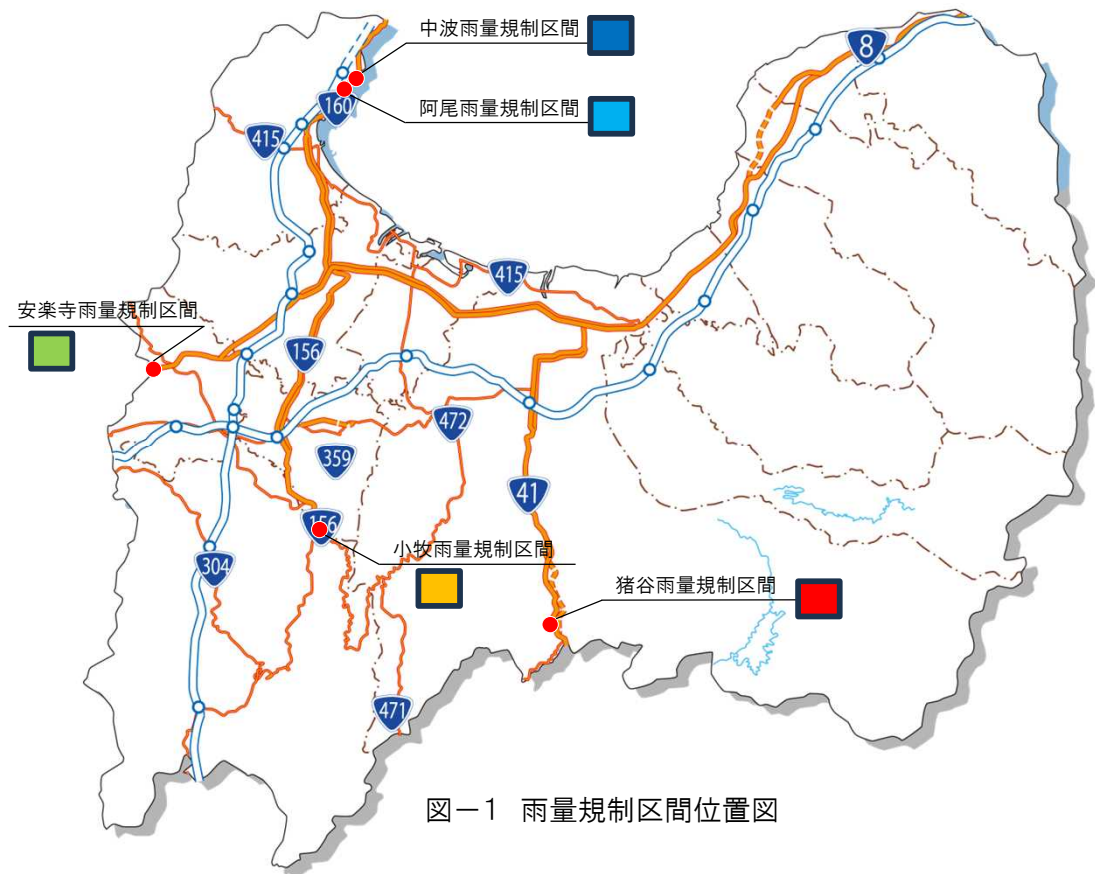
67

5. 大雨による道路の通行止について (事前通行規制区間)

事前通行規制区間

「事前通行規制区間」とは
大雨や台風による土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、過去の記録などを基にそれぞれ規制の基準等を定めて、災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施する区間。

- ・現在、富山河川国道事務所管内の事前通行規制区間(雨量規制)は、4路線5区間。総延長は13.7km。

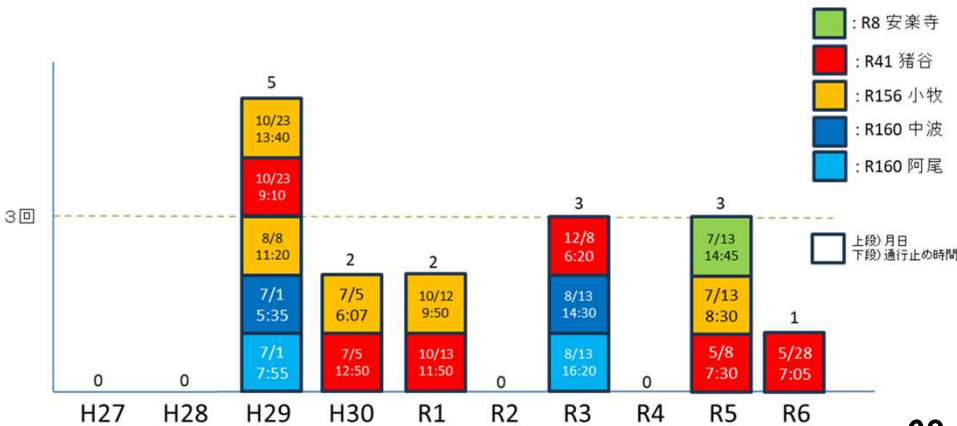


図－1 雨量規制区間位置図

表－1 事前通行規制区間と近年の実績

路線	名称	区間	延長	気象等基準値	危険内容	担当出張所	
	国道 8 号	安 楽 寺	富山県小矢部市安楽寺 ～ 石川県河北郡津幡町九折	1.6 km	連続雨量 1 8 0 ㍉ (小矢部)	土砂崩落	高岡国道 維持出張所
	国道 4 1 号	猪 谷	富山市猪谷 ～ 片掛	1.6 km	連続雨量 1 2 0 ㍉ (片掛) 雪崩発生が予想されるとき	落石等 雪崩	富山国道 維持出張所
	国道 1 5 6 号	小 牧	砺波市庄川町小牧 ～ 金屋	2.5 km	連続雨量 1 5 0 ㍉ (小牧) 雪崩発生が予想されるとき	土砂崩落 落石等 雪崩	高岡国道 維持出張所
	国道 1 6 0 号	中 波	氷見市中波 ～ 宇波	5.7 km	連続雨量 1 6 0 ㍉ (大境)	土砂崩落 落石等	能越国道 維持出張所
		阿 尾	氷見市宇波 ～ 藪田	2.3 km	連続雨量 1 6 0 ㍉ (泊)		

表－2 過去10ヵ年(H27～)の事前通行規制の実績

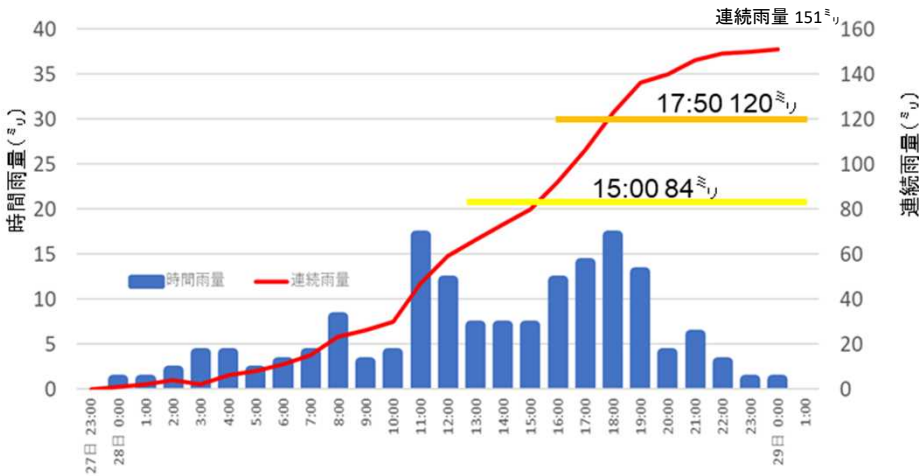


※R6.4.1現在の事前通行規制区間のみピックアップ

事前通行規制区間(令和6年 5月28日 国道41号「猪谷」の事前通行規制)

- 28日未明からの降雨により、15:00に雨量規制値の70%(84^{mm})、17:50に雨量規制値の120^{mm}を超過し、通行規制を実施。
- 連続雨量151^{mm}を観測し、翌29日 0:10に「ゼロクリア(2^{mm}以下3時間継続)」となり、点検後の 0:55 に通行規制を解除。
- 同 1:10 には高山国道事務所管内の国道41号の通行規制も全て解除。

■雨量の推移



R41 富山市片掛地先(道の駅「細入」)

■公式「X」での情報提供 … 合計12回

日時	発表	表題	内容	リポスト	いいね	表示
28日	10:00	10:13 道路情報	連続雨量30 ^{mm} を観測。120 ^{mm} で通行止。夕方雨強まる予想。	39	44	2.4万人
	11:00					
	12:00	12:07 道路情報	連続雨量59 ^{mm} を観測。120 ^{mm} で通行止。帰宅時間帯に雨足強まる予想。	29	53	1.9万人
	13:00					
	14:00					
	15:00	15:18 道路情報	連続雨量80 ^{mm} を超過。注意体制を発令し、現地に職員を派遣。	24	44	1.3万人
	16:00					
	17:00	17:06 道路情報	連続雨量100 ^{mm} を観測。120 ^{mm} で通行止。通行止の際は現地案内に従って。	16	28	1.1万人
	17:24	道路情報	連続雨量108 ^{mm} を観測。通行止基準の90%を超過。	14	18	5,400
	17:52	通行止め開始	17:50に雨量規制値の120 ^{mm} を超過したため「通行止」。	72	66	2.9万人
	18:00					
	19:00	19:08 通行止め継続中	雨降り続く。解除見込み無し。	45	61	2.3万人
29日	20:00	20:25 通行止め継続中	雨降り続き、連続雨量は140 ^{mm} に達す。解除見込み無し。	22	44	6,200
	21:00	21:18 通行止め継続中	時間雨量は6 ^{mm} 。大雨警報継続中。	29	42	5,300
	22:00					
	23:00	23:17 通行止め継続中	時間雨量は1 ^{mm} 。大雨警報継続中。	18	33	3,900
	0:00	0:19 解除見込み	現場の点検を実施中。点検で異常がなければ通行止は解除。	8	15	2,800
	0:56	解除	点検の結果、通行に支障なし。0:55に解除した。協力感謝。	20	38	7,200

※ リポスト数等の集計は6月29日、9時時点。

国土交通省 富山河川国道事務所 @mlit_toyama · 5月28日

【道路情報】国道41号富山市猪谷～片掛では、本日10時現在で連続雨量30^{mm}を観測しており、連続雨量が120^{mm}に達すると「通行止め」となります。これから夕方にかけてさらに雨足が強まる予測があり、帰宅時間帯にもなるため、引き続き今後の情報にご留意ください。

#大雨の際は富山河国のXをチェック！

国土交通省 富山河川国道事務所 @mlit_toyama · 5月28日

【通行止め開始！】国道41号 富山市猪谷～片掛で17時50分頃に通行止め基準の連続雨量120^{mm}を超過し【通行止め】となりました。付近を走行中の方は、現地の案内に従ってください。なお、通行止め解除の見込みはたっておりません。

#大雨の際は富山河国のXをチェック！

国土交通省 富山河川国道事務所 @mlit_toyama · 5月29日

【通行止め解除】

28日17:50から国道41号 富山市猪谷～片掛の通行止めを実施していましたが、現場点検の結果、通行に支障が無いことから、29日 0:55に通行止めを解除しました。ご協力ありがとうございました。#大雨の際は富山河国のXをチェック！

事前通行規制区間(道路情報提供サイト)

- 富山河川国道事務所HPでは、緊急情報や道路カメラによる路面状況等の確認が可能。
- 「道路情報提供システム」では、事前通行規制区間の連続雨量や、気温、降雪量等も確認可能。



道路気象情報(雨量、気温、積雪)



道路カメラ画像



6. 道路ふれあい月間・道路愛護に関する広報

道路ふれあい月間・道路愛護に関する広報

国土交通省では、8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用する国民の方々に、道路とふれあい、道路の役割や重要性を改めて認識していただき、道路を常に広く・美しく・安全に利用していただくため、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しています。

富山河川国道事務所では、この月間やその前後の期間に以下の行事を予定しています。

道路に関するパネル展



R6(予定)
期間:8月5日～
8月16日
場所:富山市役所
1階
主催:道路管理者
連絡協議会
その他:記者発表
にてお知らせしま
す

道路愛護団体の表彰



R6(予定)
日時:8月下旬
場所:当事務所
その他:記者発表
にてお知らせしま
す

特殊車両の取締り



R6(予定)
日時:7月下旬
場所:細入警察検
問所
その他:記者発表
にてお知らせしま
す

富山まつりはたらく車の展示



R6(予定)
日時:9月下旬(富
山まつりの日)
場所:城址大通り
その他:記者発表
にてお知らせしま
す

7. その他

**令和6年度
新潟県・富山県・石川県建設業協会と北陸地方整備局が
公共工事の諸課題について意見交換会**

公共工事の諸課題に対して、受注者・発注者の双方が問題点や地域の実情等について意見交換を行うため、(一社)新潟県建設業協会、(一社)富山県建設業協会、(一社)石川県建設業協会と北陸地方整備局との意見交換会を下記のとおり開催します。

記

開催日時・場所：

(一社)新潟県建設業協会

令和6年6月26日(水) 15:30～17:00 新潟グランドホテル
5階 常磐の間 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地
Tel 025-228-6111

(一社)富山県建設業協会

令和6年7月17日(水) 13:00～14:30 富山県民会館
8階バンケットホール 富山市新総曲輪4-18 Tel 076-432-3111

(一社)石川県建設業協会

令和6年7月11日(木) 15:30～17:00 金沢ニューグランドホテル
4階 金扇 金沢市南町4番1号 Tel 076-233-1311

記者説明：各建設業協会との意見交換会終了後、同会場において意見交換会の内容について、説明を予定しています。

その他：意見交換会冒頭(挨拶まで)の傍聴・写真撮影は自由ですが、それ以降は非公開とさせていただきます。

〔記者発表先〕

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
新潟、富山、石川県内専門紙

〔問い合わせ先〕

国土交通省 北陸地方整備局
企画部 技術管理課
課長 吉田 健一
建設専門官 安藤 達弥
建設専門官 松村 潤
電話 025-280-8880
内線 3311・3312・3318